

平成19年度国土交通省補助事業
木造住宅生産体制整備事業

木造住宅生産体制整備事業 報告書

平成20年3月

財団法人 日本住宅・木材技術センター
全国建設労働組合総連合

目次

I 事業概要

| | | |
|------------|-------|---|
| 1. 事業の趣旨 | | 1 |
| 2. 事業期間 | | 1 |
| 3. 協同実施者 | | 1 |
| 4. 事業の実績概要 | | 1 |
| 5. 得られた成果 | | 2 |

II 事業別実績報告

| | | |
|----------------------------|-------|----|
| (1)住宅生産者の経営基盤の強化講習会 | | 3 |
| (2)木材の利用及び木造住宅の生産に係る技術の開発等 | | 43 |
| (3)木材及び木造住宅に関する知識の啓発普及事業 | | 51 |

I 事業概要

1、事業の趣旨

(財)日本住宅・木材技術センター（以下「当センター」という。）では、木造住宅に関する調査・研究事業の実施や住宅性能表示制度の講習会の実施等を通じて木造住宅生産の促進に寄与してきているところである。

当センターが国土交通省の助成を受け、全建総連と共に、中小住宅生産者が木造住宅生産体制整備に向けて取り組む木造住宅の技術開発や普及のための研修会及び講習会等の事業に対して支援する事業を、昨年度に引き続き実施する。

2、事業期間：平成19年5月1日～平成20年3月30日

3、協同実施者：全国建設労働組合総連合

4、事業の実績概要

(1) 木材及び木造住宅に関する研修会、講習会等の開催事業

① 住宅生産者の経営基盤の強化講習会

中小住宅生産者の経営基盤が強化されるよう、7支部において経営基盤に関する講習会を17回開催した。

② 住宅工法等建築技術講習会

大工技能者の技術・技能の向上のため、30支部において61回の講習会を開催した（規矩術、耐震改修、若手技能者の技能向上などが主なテーマ）。

③ 若手技能者の技能向上研修会

徳島県支部において、若手大工技能者8人（第1期生4名、第2期生4名）に対し、実物大の小屋組みの墨付け、加工、組み上げの現地研修と省エネ、建築学の学科講習からなる「フレッセ大工塾」を開催した（平成19年5月～平成20年3月）。

④ 若手技能者の実技講習会

全国の若手技能者のレベル向上をはかるため、規矩術の基本を盛り込んだ課題（四方転び踏み台）を規定時間内に製図・加工・組み立てを行う「平成19年度青年技能講習会」を千葉県で開催、38県支部から79人が参加した（平成19年10月2～10月4日）。

(2) 木材の利用及び木造住宅の生産に係る技術の開発等

木造住宅の仕様開発等、地域の特性に適応した木造住宅の仕様開発の検討を行った。

(3) 木材及び木造住宅に関する知識の啓発普及事業

① 木造住宅の普及啓発パンフレット等の作成

全建総連において、住宅デーの30周年を記念し開催した「耐震・防災フォーラム」の報告集を作成した。住情報の発信、消費者への情報提供の中で、住宅の耐震化・防災対策・防犯のリーフレット等を作成し、「住宅デー」や住宅月間等のイベントや住宅相談窓口等で消費者に配付した。2支部において、地域特性にあわせた木造住宅の知識の普及啓発を目的としたパンフレット等を発行した。

② 小中学生を対象とした木工教室の開催

小中学生を対象とした木工教室は、「住宅デー」の中で開催しているもの、小中学校で開催しているもの等があり、25県支部707ヶ所で開催した。

③ 木造住宅の普及のための模型等の試作・展示

伝統的な軸組構法の良さや木造住宅の良さが目で見える模型等を作成、「住宅デー」や住情報提供の場で展示を行った（15回実施）。

5、得られた成果

- (1) ・木材及び木造住宅に関する研修会・講習会等の開催により、経営環境についての理解、規矩術、耐震改修、墨付けや鉋仕上げ技能等について理解や技能の向上がはかられ、今後の住宅生産において身に付いた成果を発揮することが期待できる。
- (2) ・「福井の家」の仕様開発により、地域に適した県産材を活用した、適正な品質と適正な価格、良質な技能の提供に向け、「福井の家」の仕様開発をおこなった。県産品の積極的な活用は、地域の事業者の育成とあわせて県内関連産業の発展に寄与することから、地域の特性に適い、なおかつ瑕疵保証制度、性能表示制度、シックハウス対策に適合した住宅の仕様を開発、技術基準の開発、施工・監理基準の開発をおこなった。
 - ・木造住宅の普及啓発パンフレット等の作成・配付により、住情報の提供の場で消費者等に木造住宅のアピールができた。
 - ・木工教室の開催により、6万9381人の子どもに対して9402人の技能者が指導にあたり、木に触れ合うこと、技能に触れることの素晴らしさを伝えた。
 - ・木造住宅の普及のための模型等の試作・展示により、住情報の提供の場で消費者等に木造住宅のアピールができた。

Ⅱ 事業別実績報告

事業番号(1) 木材及び木造住宅に関する研修会、講習会等の開催事業

①住宅生産者の経営基盤の強化講習会

1) 「耐震対策推進会議」

日時 平成19年9月6日(木) 午前10時～午後3時30分

場所 天童ホテル

講師 山形県土木部建築住宅課建築専門員 渋谷 一
全建総連企画調査室長 勝野 圭司

内容 住宅・建築物の地震防災対策の推進のために講習会を開催。

- ・新潟県中越沖地震被害及び応急危険度判定活動
- ・国、県、市町村の住宅建築物の耐震化策
- ・木造住宅の耐震診断実務

参加者 同組合の組合員55人

得られた成果と今後の活用について

建築物の耐震診断・耐震改修は喫緊の課題であり、安全で安心して暮らせる街づくりの実現に向けて、建設職人の団体として地域での防災活動を推進していきたい。

2) 「ゆうゆう住宅推進交流会・制度説明講習会」

日時 平成19年7月20日(金) 午後1時～午後4時30分

場所 群馬県建築業組合連合会研修室

講師 財団法人 住宅保証機構 手塚 泰夫 氏
全建総連工務店対策部長 澤田 雅紀 氏

内容 特定住宅瑕疵担保履行法等の対応に伴う講習会と制度利用促進。

参加者 同支部・同組合の組合員42名

得られた成果と今後の活用について

今回の開催にあたり、組合員が制度について理解し、取り組みに向け、前向きに検討していくよう指導徹底し、推進につなげていきたい。

3) 「安全大会」

日時 平成19年7月24日(火) 午後1時30分～午後4時00分

場所 建設埼玉会館

講師 エバー商会 柳川 洋介 氏

内容 現場における労災対策として、安全衛生法を中心に学習を深め、優良事業所の取り組み報告を受ける。

参加者 同支部・同組合の組合員70人

得られた成果と今後の活用について

木造住宅施工時の安全対策について周知することができた。

4) 「第 42 回住宅対策講演会」

日時 平成 19 年 7 月 27 日 (金) 午後 2 時～午後 5 時

場所 栗橋町コミュニティセンターホール

講師 有限会社 設計工房佐久間 代表 佐久間 順三

内容 木造住宅の耐震診断と改修方法について、耐震対策事業での仕事確保に向け、基礎知識の講習を受けた。

参加者 同組合の組合員 180 人

得られた成果と今後の活用について

耐震偽装問題や中越沖地震等の発生など、近年地震に対する不安が深刻になってきている中、工務店や住宅関連業者がどのような対応、対策をとるべきか、耐震対策の必要性や方法等を学ぶことができた。

5) 「第 43 回住宅対策講演会」

日時 平成 19 年 11 月 12 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

場所 県民活動総合センターセミナーホール

講師 有限会社 設計工房佐久間 代表 佐久間 順三

内容 木造住宅の耐震診断と改修方法について、耐震についての具体的な診断方法と改修工事について学習を深めた。

参加者 同組合の組合員 102 人

得られた成果と今後の活用について

耐震偽装問題や中越沖地震等の発生など、近年地震に対する不安が深刻になってきている中、工務店や住宅関連業者がどのような対応、対策をとるべきか、耐震対策の必要性や方法等を学ぶことができた。

6) 「第 27 回経営・技術研修会」

日時 平成 19 年 7 月 1 日 (日) 午後 1 時 30 分～午後 5 時 30 分

場所 首都圏建設産業ユニオン大会議室

講師 東京の木 家づくり協議会 代表 長谷川 敬一 氏
財団法人 住宅保証機構 手塚 泰夫 氏

内容 ①多摩産材の使用や山の現状報告など地元の木で家をつくる提案を、東京の木 家づくり協議会代表の長谷川一級建築士を講師に招き、研修会を開催。
②特定住宅瑕疵担保履行法等に関する法律が成立したことから、(財)住宅保証機構の手塚氏を講師に招き、法律の概要と工務店としての対応策について学習をした。

参加者 同支部・同組合の組合員 31 人。

得られた成果と今後の活用について

東京の木・多摩産材を使用してなぜ住まいをつくる提案をしているのか、その取り組みについて講師が実践してきた活動から、環境問題と住まいづくりについて学んだ。ゆうゆう住宅に多摩産材使用を呼びかけ、現場見学会や秋川木材協同組合との取り引きを通じ、今後の見学会などへの企画提案につながった。
住宅瑕疵担保履行法の概要と対策について学んだ。

7) 「第28回経営・技術研修会」

日時 平成19年9月9日(日) 午後1時30分～午後5時

場所 杉並区立勤労福祉会館 集会室

講師 リフォームビジネス研究所 所長 石田 典彦 氏

内容 経営・営業についての研修会として、おもに営業活動の強化について、ノウハウやポイントについて学習を深めた。団塊世代の大量退職とリフォーム工事の受注戦略について解説していただきました。

参加者 同支部・同組合の組合員を中心に45人。

得られた成果と今後の活用

建設業の営業と経営について戦略と方針、そしてリフォームビジネスを立ち上げていくために、なにを準備し、顧客を獲得していくかについて、講師の実績と情勢分析を通じて学んだ。

8) 「住宅センター代表者会議」

日時 平成19年8月5日(日) 午後1時30分～午後5時30分

場所 建設ユニオン 会議室

講師 全建総連工務店対策部長 澤田 雅紀 氏

内容 幹旋事業と支部独自の住宅センターの代表者を集め、町場の仕事確保運動を展開していくために、木造住宅建築業務基準と居ながらリフォームについて学習を深め、各支部の住宅センターの活動(NPO申請・練馬区耐震改修工事登録制度とセンターの取り組みについて)の報告を行い、意見交流を行った。

参加者 同支部の組合員34人。

得られた成果と今後の活用

「組織内メンテナンス(お客さん引継ぎ制度)」の概要の説明。東京都のマスタープランに盛り込まれた住宅施策の「リフォーム10」についての解説。リフォーム産業での注意事項について学び、仕事確保の制度創設と行政への要求の理解を図ることができた。また、現場での職人のマナー等を学び、仕事確保への取り組み強化につなげることができた。

9) 「性能保証登録業者協議会総会」

日時 平成19年9月23日(日) 午後1時30分～午後5時40分

場所 東村山市 相羽建設(株) 会議室

講師 財団法人 住宅保証機構 手塚 泰夫 氏

内容 住宅保証機構の登録業者である組合員を対象に、特定住宅瑕疵担保利広報に関する法律の概要、登録業者としての対応について学習した。多摩産材を活用した東村山プロジェクトの実証実験参加業者の相羽建設(株)の取り組み報告と東村山市本町プロジェクトの現場見学会を行った。

参加者 同支部の組合員26人

得られた成果と今後の活用

住宅保証機構の手塚氏から住宅瑕疵担保履行法について学んだ。多摩産材を使用した現場と東京都の実証実験現場の合理化の手法について、相羽建設(株)

代表から経緯と取り組みについて、現場見学もしながら学ぶことができ、今後の住宅生産活動に活かしていきたい。

10) 「新会社法学習会」

日時 平成19年5月17日(木) 午後7時～午後9時

場所 建設ユニオン練馬支部会議室

講師 関根 豊 公認会計士・税理士

内容 東京商工会議所発行のパンフレットに基づき、講師が解説を行った後に質疑応答により、理解を深める。

参加者 16人

得られた成果と今後の活用

現在、法人として営業活動を行っている町場の事業所がこれから先にどのような対応が必要か、また、法人化を検討している個人事業主が行うべき実務についての具体的な知識が習得でき、今後の取り組みに活かしていきたい。

11) 「住宅リフォームセミナー」

日時 平成19年7月27日(金) 午前10時00分～午後4時

場所 全国教育文化会館

講師 第5回全都住宅センター交流会

内容 住宅センター責任者と事務局を対象に木造住宅の効果的な耐震補強工事の工法について学習を深めた。

参加者 同支部の組合員104人

得られた成果と今後の活用

費用がかさむ耐震改修費用をできるだけ安く、かつ効果的な工法を紹介し、現場に役立つよう、今後の取り組みに活かしていきたい。

12) 「建築士のための経営サポート講座」

日時 平成19年5月16日(水)、29日(火)、6月5日(火)
午後1時30分～午後5時00分

場所 東京土建技術研修センター 会議室

講師 一級建築士 橋本 英夫 氏

内容 耐震診断や住宅リフォーム、消費者相談などについてのレベルアップを目的として、経営に少しでも役立ててもらおうことを目指した講座。

参加者 同支部の組合員84人

得られた成果と今後の活用

講師の実践的な話を通じ、自らの経営力アップに自信を持つことができ、有意義な講習会となった。今後も続けていきたい。

13) 「住宅活動者会議」

日時 平成19年7月15日(日) 午前9時～午後16時00分

場所 大田区産業プラザコンベンションホール

講師 新建新聞社 編集長 三浦 祐成 氏

内容 「住宅産業の現状と将来予測」講演

参加者 同支部の組合員 120 人

得られた成果と今後の活用

今後の建設業界の傾向的、統計的解説について大いに参考になった。現場の合理化・経営の近代化にも役立てられるのではないかと。

14) 「住まいるコープ全登録員研修会」

日時 平成 20 年 2 月 3 日（日）午後 1 時 30 分～午後 5 時

場所 横浜市鶴見公会堂

講師 リフォームビジネス研究所 所長 石田 典彦 氏

内容 大工・工務店向け学習会

【第 1 部】

木造住宅の今日的な魅力とその営業方法

顧客訪問時のマナーと接客

住まいるコープの顧客対策

【第 2 部】

クレーム事例研究

2008 年度の事業方針

参加者 同支部の組合員 200 人

得られた成果と今後の活用

木造住宅への消費者のニーズに関する知識が深まった。地元工務店の OB 顧客対策について学んだ。今後、生協の事業活動を通じて、顧客訪問を展開し、地域材（神奈川県産材）の利用なども含めた新築・リフォーム住宅の提案を進めたい。

15) 「改正建築基準法説明会」

日時 平成 19 年 10 月 10 日（日）午後 6 時 30 分～午後 9 時 00 分

場所 川崎市総合自治会館

講師 川崎市まちづくり局 嵯峨野 雅彦 氏、白井 章雄 氏、内野 俊之 氏

内容 建築士・工務店が学習会を通じて「経営の助力」になることを目的とし、6 月の建築基準法改正に伴う改正のポイントを学習しました。

参加者 同支部の組合員 49 人

得られた成果と今後の活用

6 月の改正建築基準法の施行に伴う新設着工戸数の激減は確認申請の停滞が原因。今後、継続した学習が必要。

16) 「住宅リフォーム顧客折衝とマナー」

日時 平成 19 年 5 月 12 日（土）午後 7 時～午後 9 時 00 分

場所 相模原市民会館

講師 住宅リフォーム研究所 石原 孝司 氏

内容 住宅リフォーム業の現状と接客マナーについて学習を深める。

参加者 同支部の組合員 80 人

得られた成果と今後の活用

あいさつの仕方や名刺の渡し方などの指導を受ける。こういった研修を始め

て企画したので、今後、継続していくとともに、活用していきたい。

17) 「住宅瑕疵担保履行法及び改正建築基準法学習会」

日時 平成19年11月26日(月)午後7時～午後9時

場所 名張市勤労福祉会館

講師 (財)三重県建設技術センター 谷口参事兼課長、鈴木副参事
全建総連工務店対策部長 澤田 雅紀 氏

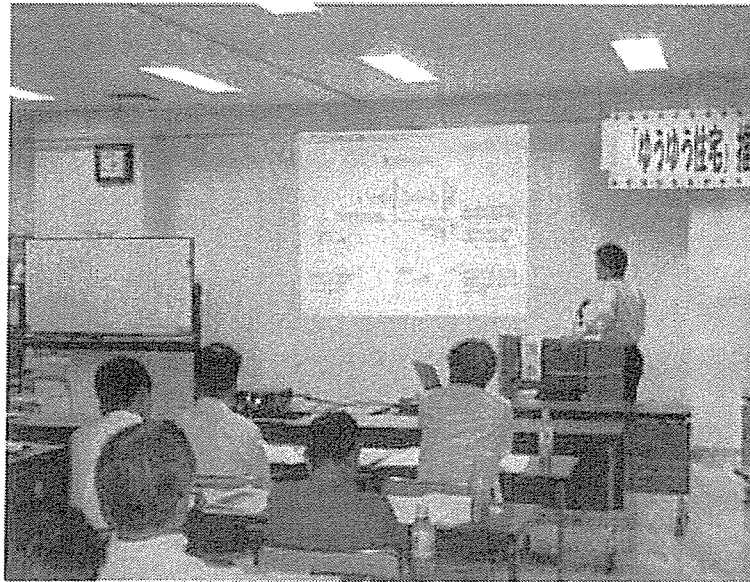
内容 住宅瑕疵担保履行法及び改正建築基準法などの内容を十分理解し、建築法令や行政の動きなどの認識を高め、経営基盤の安定のため、現場で対応していくために学習を深める。

参加者 同支部の組合員43人

得られた成果と今後の活用

新築住宅等の建築に当たって、法令等の改正内容を十分理解し、施主との対応に配慮しつつ、仕事確保に活かすことができる。





「ゆゆう住宅」推進交流会・制度説明講習会の感想アンケート

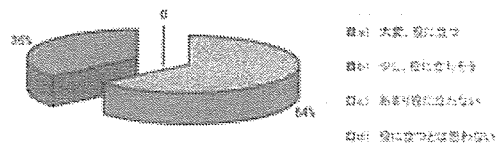
集計結果

開催日 平成19年7月20日(金) 講師名
 開催場所 群馬県会館「第1研修室」 津田 雅紀(全建研連 工業高対策部 部長)
 手塚 泰夫(財)住宅保証機構保証審査部次長)

| 申込数 (名) | 当日来場 (名) | 受講者数 (名) | 出席率 (%) | アンケート回答数 (名) |
|------------|-------------|-------------|------------|-----------------|
| 41 | 42 | 42 | 102.4% | 36 |

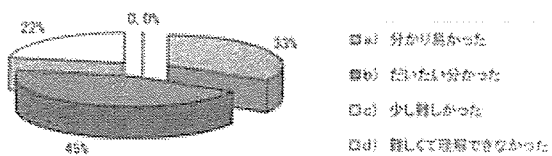
| 1. 講習会全体の感想について | | 回答者(名) | 回答率(%) |
|-----------------|------------|--------|--------|
| a) | 大変、役に立つ | 23 | 63.9% |
| b) | 少し、役に立ちそう | 13 | 36.1% |
| c) | あまり役に立たない | 0 | 0.0% |
| d) | 役に立つとは思わない | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 36 | 100.0% |

講習会全体の感想



| 2. 講習内容について | | 回答者(名) | 回答率(%) |
|-------------|--------------|--------|--------|
| a) | 分かり易かった | 12 | 33.3% |
| b) | だいたい分かった | 16 | 44.4% |
| c) | 少し難しかった | 8 | 22.2% |
| d) | 難しくて理解できなかった | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 36 | 100.0% |

講習内容





講師写真： 佐久間 順三 氏

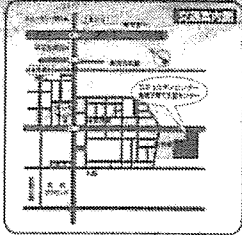
住宅対策講演会

平成19年7月27日(土)
14時～17時(総席120席50分)

題 目
「木造住宅の耐震診断と改修方法」
～耐震対策での仕事確保に向けて～

講 師
設計工房佐久間 代表 佐久間順三 氏

〒305-0855 茨城県水戸市水戸区南大宮1-1-1
設計工房佐久間 電話 0272-22-1111
〒305-0855 茨城県水戸市水戸区南大宮1-1-1
設計工房佐久間 電話 0272-22-1111



茨城県水戸市水戸区南大宮1048-1
東岡町コミュニティセンター ホール
0480-55-1122

「耐震診断・耐震改修」で
新たな仕事確保!

新築事業への第一歩を踏み出すための
秘訣を木造住宅耐震改修の第一歩が
分かりやすく解説します。

参加無料



主催 ● 建設埼玉
後援 ● 埼玉県

お問い合わせ・お申し込み
TEL 048-624-5704

第42回 建設埼玉 住宅対策講演会

司会 鈴木実彰 熊本副執行委員長

1. 開会あいさつ (担当地区本部：島崎実彰地区本部執行委員長)
2. 主催代表あいさつ (大塚第3ブロック長：建設埼玉副執行委員長)
3. 前編 建設埼玉中央執行委員長あいさつ
4. 講演

木造住宅の耐震診断と改修方法

～耐震対策での仕事確保に向けて～

2時 開演

設計工房佐久間 代表 佐久間順三 氏

5. 質疑応答
6. 閉会あいさつ (新井建設埼玉本部住宅対策部長)



①

耐震補強とリフォーム設計者・施工者向け
木造住宅の耐震補強の義務
 ～リフォームあわせの耐震補強のすすめ～
 (財)日本建築防災協会

はじめに

目次

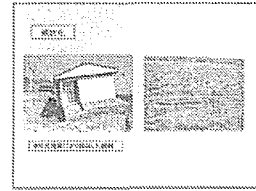
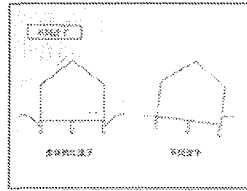
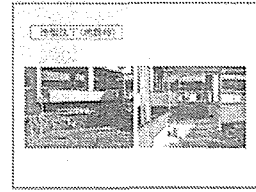
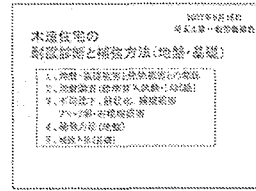
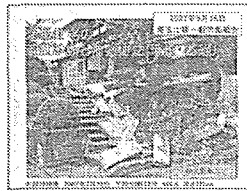
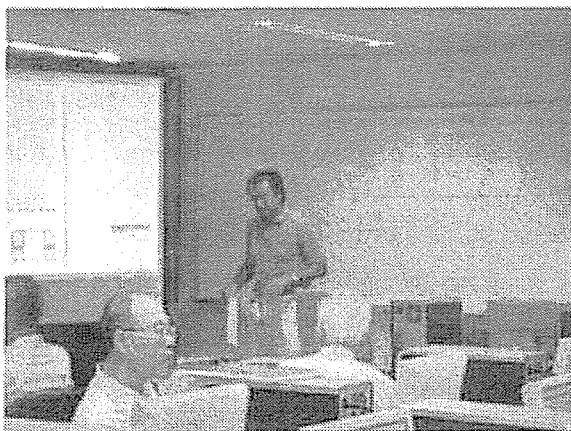
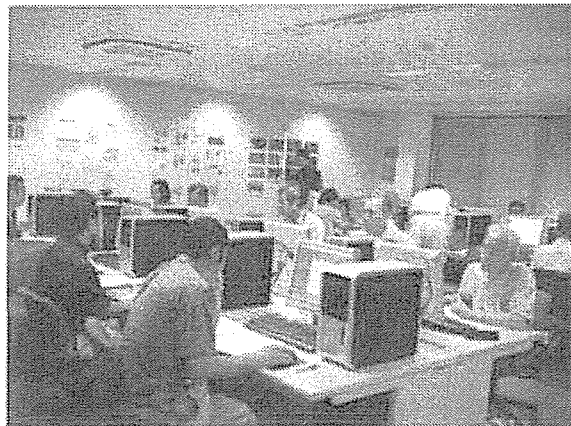
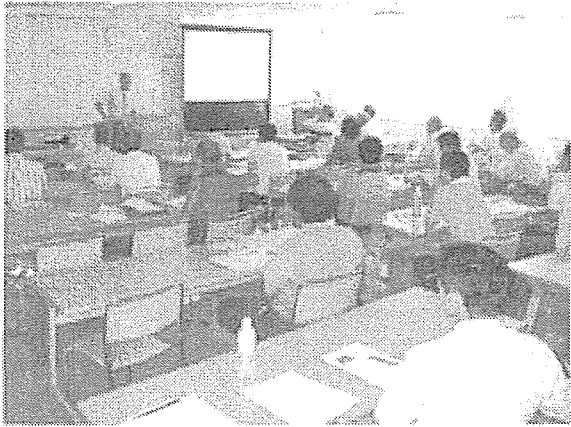
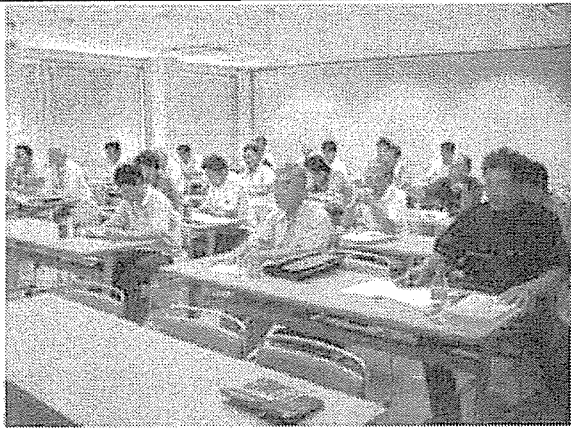
- 東海・東南海・南四地震等の大規模地震の発生
の危険性
- 住宅の耐震診断、耐震補強による住宅の耐震性
を向上させることが重要な課題

耐震性の向上には

- 地主等へ巻頭の巻発
- 施工者等も巻頭を強く持つことが必要

本書の構成

- 第1編 耐震補強マニュアル
～分かりやすいマニュアル
- 第2編 リフォーム時の耐震補強マニュアル
～リフォームと耐震補強を合わせて実施を想定
- 第3編 耐震補強・リフォームの基礎知識
- 第4編 耐震補強・リフォーム工事の事例シ
ン
～12件の補強事例を集めた



埼玉土建一般労働組合
耐震診断・耐震補強マニュアル
ダイジェスト版

2007年編

埼玉土建技術協会対策部

②住宅工法等建築技術講習会

1) 「規矩術研修会」

日時 平成 20 年 1 月 25 日 (金) 午前 9 時～午後 5 時

場所 栃木県矢板市矢板公民館

内容 大工技能、規矩術の基本を学ぶため、製図、墨付け、刻み加工などの研修を行った。

講師 戸室 忠男 氏

参加者 18 人

得られた成果と今後の活用

プレカットによりあまり必要がないと思われがちな規矩術であったが、今回の研修により、特に若い人への関心が高まるとともに、伝統構法を現場へ活かす良い機会となった。

2) 「木造軸組構法研究会学習会」

日時 平成 19 年 9 月 21 日 (金) 午前 10 時～午後 4 時

場所 群馬県建築業組合連合会研修室

内容 ①斗組の作成、②規矩術、③さしがね使いと算定法

④各会員より、得意とする仕口・継手の披露

講師 土田 利雄 氏、小林 彰男 氏、多田 正良 氏

参加者 32 人

得られた成果と今後の活用について

木造建築技能集団として、伝統的な斗組、継手、仕口をテーマとした学習会は、若年技術者をはじめ、関心が高かった。また、規矩術、さしがね使いは建築大工の原点について改めて学習できる場となった。修得した技能を現場に活かしたい。

3) 「彩の国技能まつり競技大会事前講習会」

日時 平成 19 年 6 月 3 日 (日) 午前 9 時～午後 5 時

場所 建設埼玉会館

内容 課題作成により、技能を研鑽し、技術技能への関心と向上心を高める。

参加者 25 人

得られた成果と今後の活用

技能の向上が図られ、今後、習得した技能を現場で活かしていくことができる。

4) 「彩の国技能まつり競技大会」

日時 平成 19 年 7 月 1 日 (日) 午前 9 時～午後 5 時

場所 建設埼玉会館

内容 課題作成により、技能を研鑽し、技術技能への関心と向上心を高める。

参加者 25 人

得られた成果と今後の活用

技能の向上が図られ、今後、習得した技能を現場で活かしていくことができる。

5) 「規矩術講習会」

日時 平成19年10月14日(日)、11月25日(日)、12月23日(日)

午前9時～午後5時

場所 建設埼玉会館

内容 建築大工の基本である規矩術について入門、基礎、応用に分けて学習し、理解を図る。

参加者 30人

得られた成果と今後の活用

技能の向上が図られ、今後、習得した技能を現場で活かしていくことができる。

6) 「伝統建築学習会」

日時 平成19年5月15日～平成20年1月30日 計80回

場所 大宮建築高等職業訓練校実習場

内容 伝統的な技術技能の継承、発展、後継者の育成を図る。

参加者 20人

得られた成果と今後の活用

実践的な講習により、技能の向上が図られ、今後、習得した技能を現場で活かしていくことができる。

7) 「第7期さしがね教室」

日時 平成19年9月12日(水)

場所 大宮建築高等職業訓練校実習場

内容 伝統的な技術技能の継承、発展、後継者の育成を図る。

参加者 6名

得られた成果と今後の活用

実際の実技講習により、技能の向上が図られた。今後、現場において修得した技術を大いに活用できる。

8) 「住宅耐震診断セミナー」

日時 平成19年5月20日(日) 午前9時30分～午後4時30分

場所 埼玉県さいたま市「埼玉川口鳩ヶ谷支部事務所」

講師 有限会社 設計工房佐久間 代表 佐久間 順三 氏

内容 木造住宅の耐震診断と補強方法を事例も交え講習を行った。

参加者 同支部・同組合の組合員100人

得られた成果と今後の活用について

実例を多数取り入れた木造住宅の耐震診断と補強方法の講習会となり、今後大いに現場に活かしていきたい。

9) 「木造住宅の耐震診断と補強方法」

日時 平成 19 年 8 月 5 日 (日)

午前 10 時～午後 5 時 00 分

場所 埼玉県さいたま市「埼玉技術センター」

講師 アイ設計工房 代表 池田 真幸

内容 木造住宅の耐震診断と補強方法についての講習受講者を対象に、建築防災協会編「一般診断方法による診断の実務」付属の耐震診断ソフトの使用方法についての講習を行うことで、パソコンによる耐震診断を迅速に行える技術者の養成をしていく。

参加者 同支部・同組合の組合員 11 人

得られた成果と今後の活用について

耐震診断・補強技術を活かし、地域の住宅の安全に寄与できる人材を育成することができた。今後、習得した知識や技術・技能を活かし、耐震診断や耐震補強工事の実践、普及・啓蒙活動を行うことが期待される。

10) 「木造住宅の耐震診断と補強方法」

日時 平成 19 年 9 月 16、17 日 (日・月)

午前 10 時～午後 5 時 00 分

場所 埼玉県さいたま市「埼玉技術センター」

講師 有限会社 設計工房佐久間 代表 佐久間 順三

内容 住宅生産者、設計者を対象に、木造住宅の耐震診断と補強方法、建築物の地盤、基礎の調査と補強方法、制震・免震工法について、基本と具体的施工方法を学習した。

参加者 同支部・同組合の組合員 32 人

得られた成果と今後の活用について

耐震診断・補強技術を活かし、地域の住宅の安全に寄与できる人材を育成することができた。今後、習得した知識や技術・技能を活かし、耐震診断や耐震補強工事の実践、普及・啓蒙活動を行うことが期待される。

11) 「第 3 回公開セミナー」

日時 平成 19 年 9 月 9 日 (日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

場所 千葉市ポリテクカレッジ千葉

講師 清水建設 上席設計 (株) 木内修建築設計事務所 木内 修 氏

内容 地域住民や消費者・学生、さらにもものづくりに携わる方を対象に、木造建築文化としての匠たちの技の魅力を提供し、情報を発信することを目的とした公開セミナー。

参加者 80 人

得られた効果と今後の活用について

伝統木造社寺建築の継手、仕口の研究から発展した独自の継手、仕口などの講義によって、知識と技能の向上が図られた。

12) 「第3回削ろう会」

日時 平成19年5月27日(日) 午前9時～午後4時

場所 建設ユニオン調布支部

講師 下村 十三 氏

内容 鉋の使い方の技術向上を目的に、削りくずの薄さの測定と鉋の手入れなどを学ぶ。

参加者 9人

得られた成果と今後の活用について

現代社会(建築現場)では、使用される機会の減った鉋ではあるが、この伝統的な道具の使い方を習得することは、日本の建築技術を後世に残す意義があるものと考えます。参加者は二十代から三十代の若い世代も多く、明日の日本の建築を担う技術者の育成につなげていきたい。

13) 「木造住宅規矩術講習会」

日時 平成19年9月23日(日) 午前9時～午後2時

場所 建設ユニオン多摩支部

内容 隅木振れ垂木の作図と作成

参加者 13人

14) 「和敬塾講座」

日時 平成19年8月5日(日) 午前10時～午後12時20分

場所 東京土建技術研修センター

講師 職藝学院 講師 島崎 英雄

内容 木造建築に対する伝統構法の開発と建築関係の再生を数多く手がけてきた島崎英雄棟梁が「伝統構法一筋」と題し、伝統構法の良さを解説する。

参加者 同支部の組合員307人

得られた成果と今後の活用

継承されてきた伝統構法を現代に活かす島崎棟梁の話に感銘した。自らの仕事に役立てていきたい。

15) 「木造住宅耐震性能学習会」

日時 平成19年7月19日(木) 午後3時～午後6時30分

平成19年12月14日(金) 午後7時～午後9時

場所 建設プラザかながわ

講師 一級建築士 浅間 元基 氏、一級建築士 渡辺 政利 氏

内容 木造住宅耐震性能に関わる学習会を「木造住宅耐震診断士派遣事業」「改正建築基準法問題」のテーマで開催した。8月8日(水)～9日(木)に新潟県中越沖地震での木造住宅の被害現地調査を行い、耐震補強工事、住宅相談活動の重要性について調査研究し、講習会を実施した。

参加者 同支部の組合員120名

得られた成果と今後の活用

木造住宅耐震性能にかかわる諸問題を耐震診断士派遣事業、自治体の耐震改修補強工事助成事業、中越沖地震での木造住宅の被害状況調査報告、建築基準

法などのテーマ別に様々な角度から学習し、木造住宅の耐震性の広報について知識を深め、地域住民に対する啓蒙・普及活動につなげることができた。

16) 「横浜市耐震診断士講習会」

日時 平成 19 年 7 月 15 日 (日) 午前 9 時～午後 16 時 00 分

場所 港北公会堂

講師 一級建築士 浅間 元基 氏

内容 横浜市耐震診断士資格制度変更に伴う、新たな診断士受験に向けた準備講座。

参加者 同支部の組合員 20 人

得られた成果と今後の活用

新たな横浜市耐震診断士資格制度変更に伴うポイントを学習し、同受験を受け、数名の合格者がでた。今後も制度活用に向け、取り組みを継続したい。

17) 「さしがね講習会」

日時 平成 20 年 1 月 16 日 (水) 午後 7 時～午後 9 時

場所 湘央建設組合

講師 向 外二 氏

内容 朝顔型木箱の模型を用い、さしがねの使い方の講習を行う。

参加者 16 人

得られた成果と今後の活用について

プレカットに頼らず、在来工法で木造住宅を建築しようとする組合員がさしがねの使い方を理論的に学び、現場での墨付けや刻み等に活かしていけるのではないか。

18) 「第 2 回木工品づくり協議講習会」

日時 平成 19 年 9 月 9 日 (月) 午前 8 時～午後 5 時

場所 神奈川県立産業技術短期大学

内容 木工品づくり

参加者 69 人

19) 「規矩術講習会」

日時 平成 19 年 10 月 21 日 (日) 午後 1 時～午後 5 時

場所 相模原市民会館

講師 高橋 則文 氏

内容 日本の伝統的な木造建築の基本となる木組みのさしがねや規矩術は社寺の重厚な屋根勾配や流れの角度、軒の出具合や木組みの交差しあう部位の取り合い等の技法で、現在の木造新築家屋には使われなくなった伝統的な技能・技法を継承するために開催。

参加者 21 人

得られた成果と今後の活用について

仕上がり隅木、桁、束、垂木、広小舞の材料にさしがねを使って墨付けを行い、若い大工に伝統的な技能・技法を継承した。入母屋の建築では、講習会で

学んだ技能・技法を現場に活かしたい。

20) 技能講習会

日時 平成19年12月2日(日) 午前9時30分～午後5時30分

場所 福井市研修センター

内容 製図・墨付けを行い、材を刻み、組み立て仕上げる。

参加者 20人

得られた成果と今後の活用について

実践的な講習会によって技能の向上が図られた。さらに技能検定の合格率向上も目指していきたい。

21) 「鉋削り講習会」

日時 平成19年7月29日(日) 午前9時～午後4時

場所 福井産業技術専門学校

内容 鉋削りにおける姿勢・要点などを指導する。

参加者 8人

得られた成果と今後の活用について

建築大工特有の「かん・こつ」の技が継承され、技能水準の向上に役立った。

22) 「墨付け教室」

日時 平成19年5月1日～平成20年1月31日

第2・第4土曜日 午後1時30分～午後5時

場所 福井市研修センター

講師 安下 省三 氏、野坂 京治郎 氏、藤田 満雄 氏、濱本 健一郎 氏

内容 初級は、切妻の小さな建物を一人で一棟の墨付け、施工し、他にも、土縁の納まりや階段(廻り・直)など、要望を受けながらの講習を行う。

得られた成果と今後の活用について

後継者育成と若手職人の技術向上に役立った。

23) 「規矩術講習会」

日時 平成19年11月4日(日)、平成20年1月20日(日)

午前9時30分～午後3時

場所 全建愛知会館

内容 さしがねを使用して勾配をとったり、棒隅屋根の図面を作成し、規矩術の基本から応用までの内容を学ぶ。

参加者 26人

得られた成果と今後の活用について

実践的な講習によって技術の向上が図られた。今後、習得した技能を現場に活かしていけるのではないかと。

24) 「木造住宅に関わる工法の技術講習会」

日時 平成19年6月24日(日) 午前9時～午後5時

場所 岡山建設共同高等職業訓練校

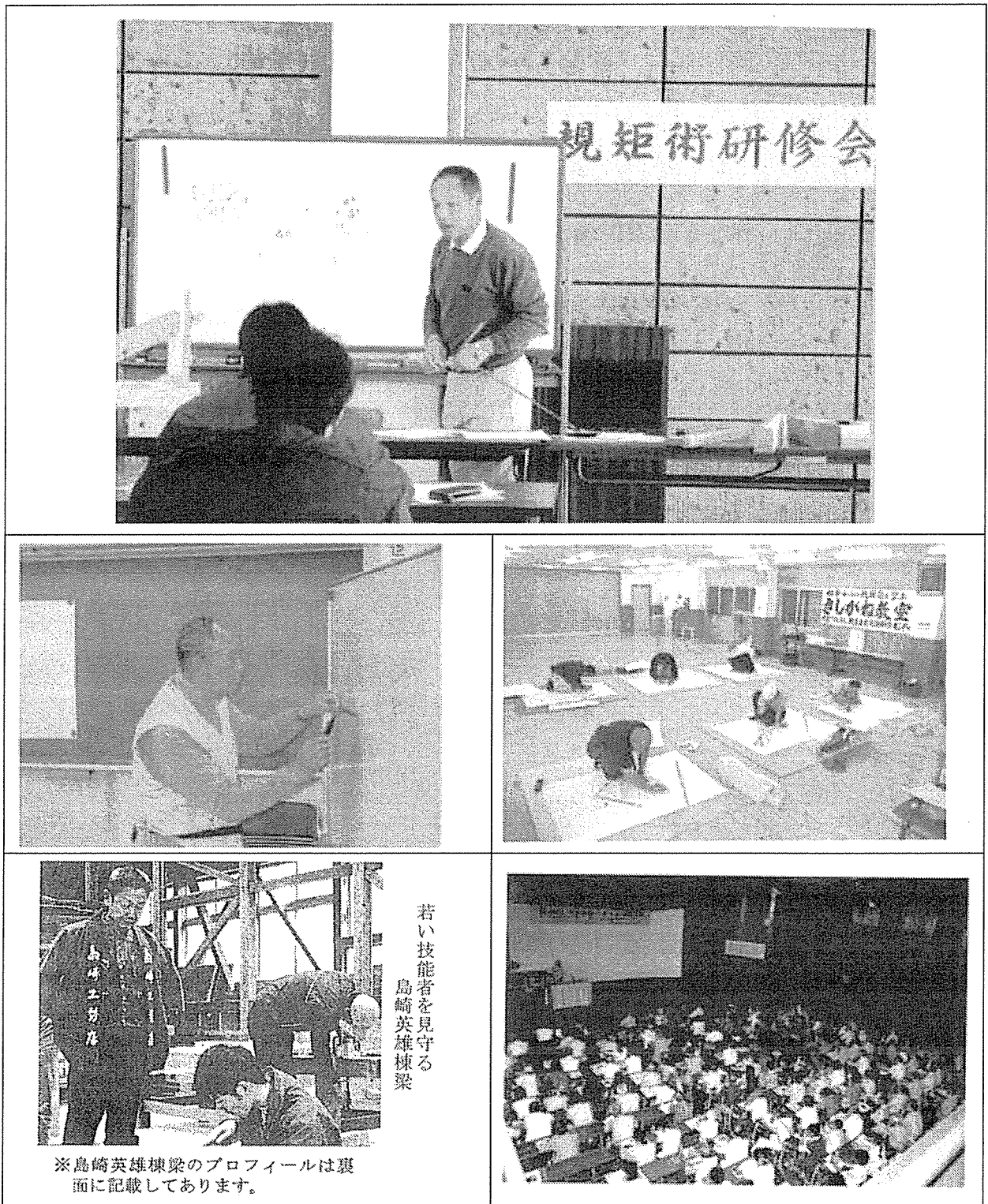
講師 宮本 治夫 氏

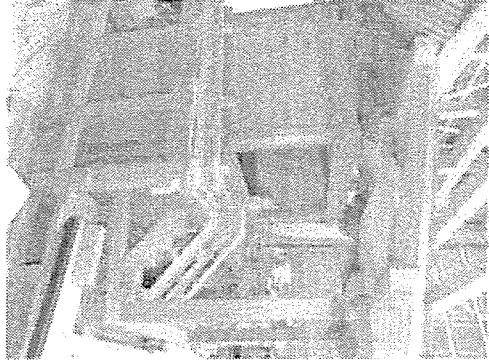
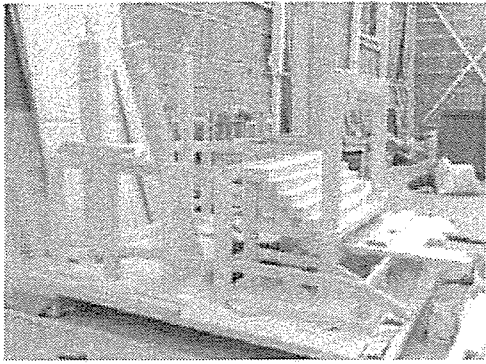
内容 木造住宅（在来工法）の基本である、隅木、振たる木の技術向上と継承を目的とし、技能検定（建築大工）1級と2級の課題を手本とした講習会。

参加者 13人

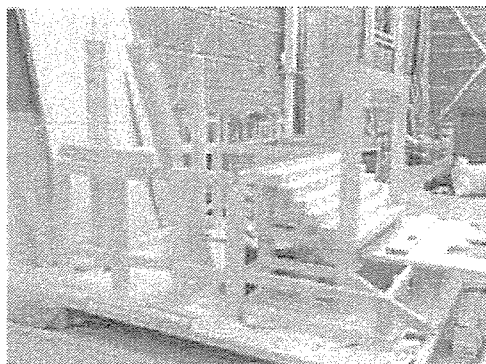
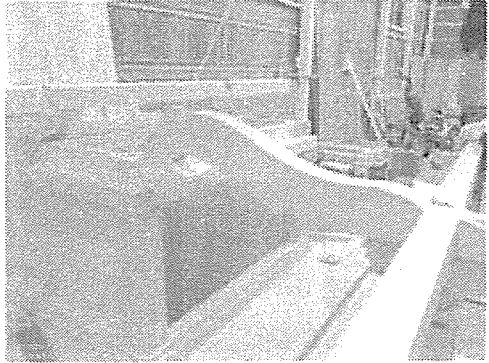
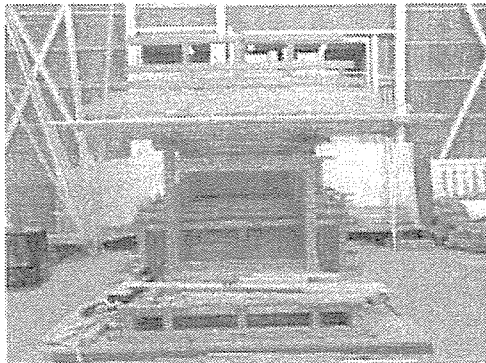
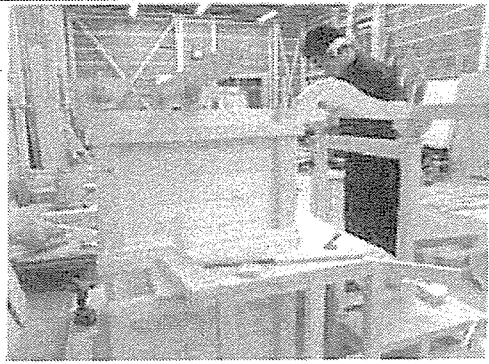
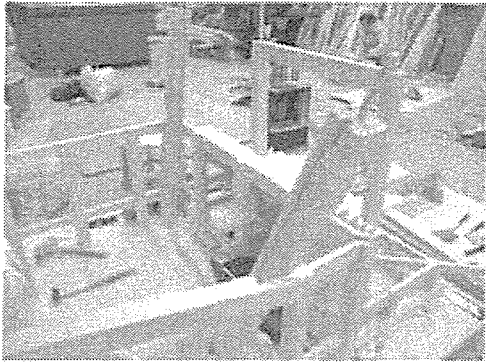
得られた成果と今後の活用について

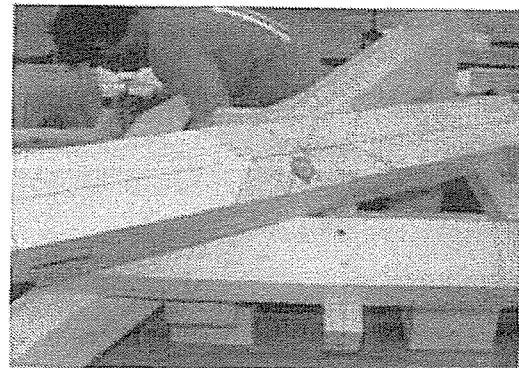
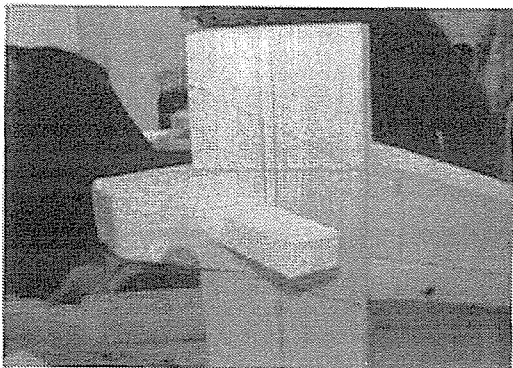
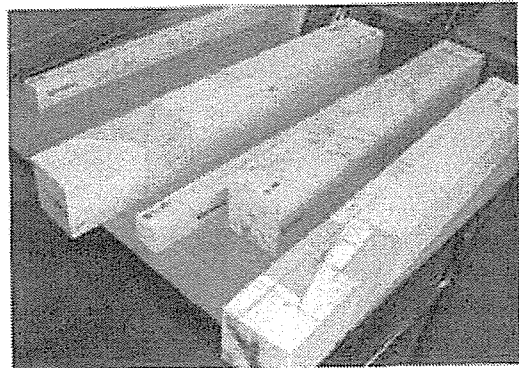
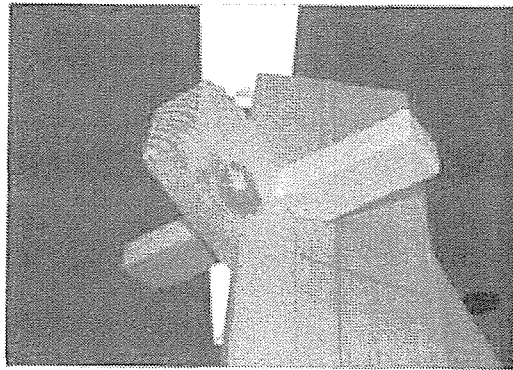
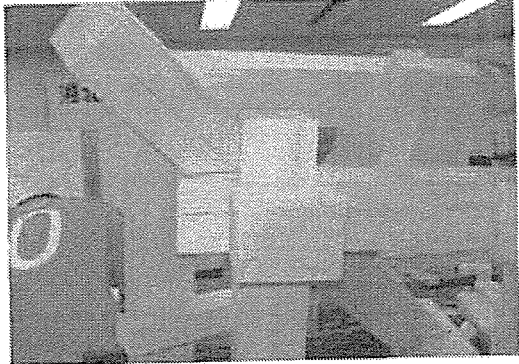
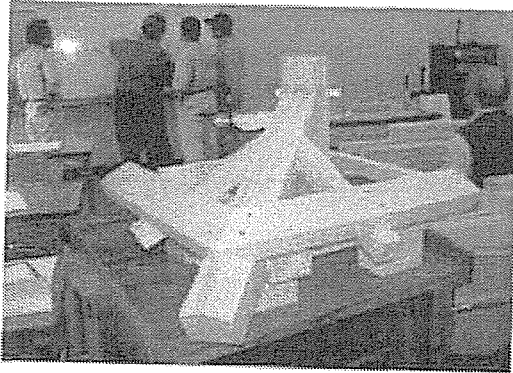
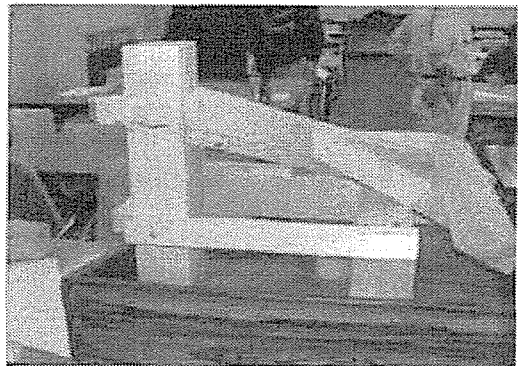
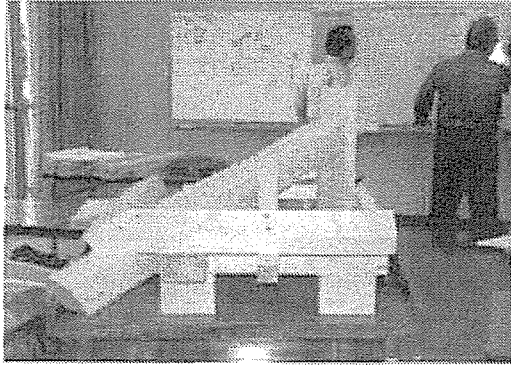
実践的な講習によって、技能の向上が図られたと思う。今後、習得した技能を現場に活かしていくとともに、技術の継承に役に立った。

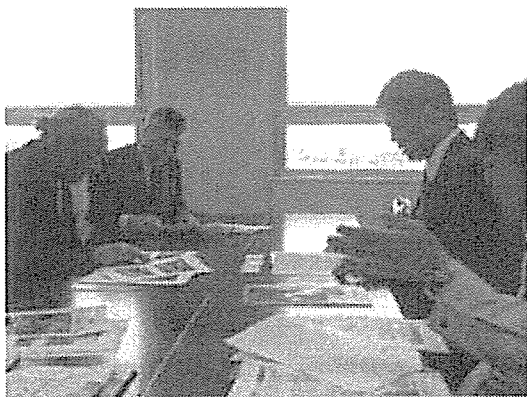
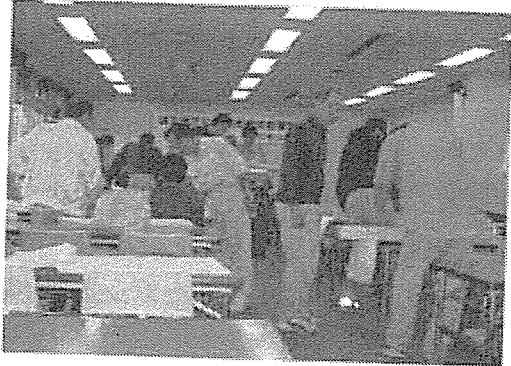
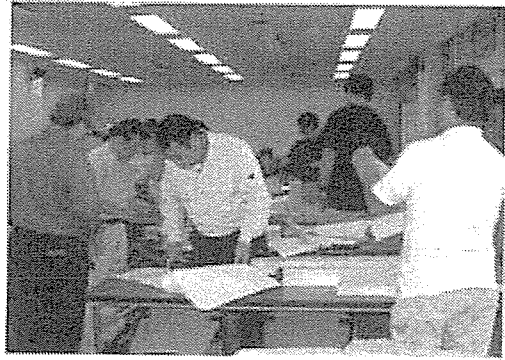




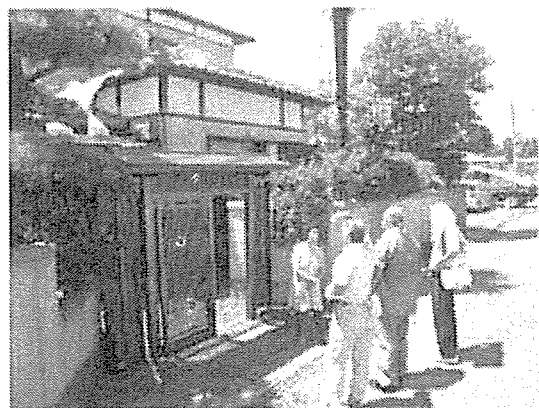
10/1/2011 10:51:51







12月11日 新潟県中越沖地震現地調査（第2回）



8月8日～9日 新潟県中越沖地震現地調査（第1回）

18) 若手技能者の技能向上研修会

内容

大工技能・規矩術の基本を学ぶため、製図・墨付け・刻み・組立などの講習を行った

実施支部と実績（実施日、参加人数、内容など）

北海道 6月10日 於／小樽建築技能協同組合
内容 製図、墨付け、刻み、組立 参加者 44人

岩手県 7月9日、8月17日 於／釜石高等職業訓練協会
内容 製図、墨付け、刻み、組立 参加者 11人

宮城県 8月3、26日、9月15日 於／宮城職業能力開発促進センター
内容 製図、墨付け、刻み、組立、技術講習会 参加者 25人

山形県 ①8月26日 於／天童北部公民館
②6月3、24日、9月16日 於／酒田、米沢各組合事務所
③8月5日 於／田川組合事務所
④6月28日～8月25日 於／山形建設事務所 計 24回
内容 ①～③製図、墨付け、刻み、組立 参加者 59人
④製図 参加者 111人

福島県 ①7月4日～9月26日 於／福島県組合会館 計 20回 参加者 38人
②9月1、7日 於／村上建築 参加者 5人
③5月13日～9月9日 於／全建総連原町会議室 計 12回 参加者 18人
④7月29日、8月26日、9月9日 於／全建総連福島 参加者 22人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

栃木県 6月8日～ 於／栃木建労会館 計 23回 参加者 59人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

群馬県 6月17、18日、7月1日 於／群馬県組合会館
内容 製図、墨付け、刻み、組立 参加者 9人

埼玉県 6月28日、7月1、15日、8月5日
於／埼玉技術研修センター 参加者 14人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

千葉県 7月8日、8月5日、9月2、23、24日
於／ポリテクセンター千葉 参加者 30人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

東京都 ①5月8日、6月10日、7月1日 於／全建総連会館 参加者 36人
②9月3、10日、17日 於／全建総連会館 参加者 57人
③6月6日、7月23日 於／建設ユニオン会館
内容 ①、②製図、墨付け、刻み、組立
③製図、墨付け、刻み、組立

神奈川県 ①7月8日～8月19日 計5回
於／神奈川県組合事務所 参加者 8人
②8月27日
於／神奈川県産業技術短期大学大工実習場 参加者 7人
内容 ①製図、墨付け、刻み、組立
②製図、墨付け、刻み、組立

愛知県 7月11日～8月3日 計9回 於／全建愛知会館 参加者 16人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

三重県 ①8月11日 於／メッセウイングみえ 参加者 19人
②6月15～8月10日 計17回 於／加藤建設作業場 参加者 34人
③6月15日、8月10日、9月4、26日 於／山都建築作業場 参加者 4人
内容 ①製図、墨付け、刻み、組立
②製図、墨付け、刻み、組立
③製図、墨付け、刻み、組立

京都府 9月12日 於／京都建築高等職業訓練校 参加者 2人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

兵庫県 5月27日 於／西脇地域職業訓練センター 参加者 13人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

奈良県 7月8日 於／西脇地域職業訓練センター 参加者 9人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

岡山県 7月29日 於／岡山建設共同高等職業訓練校 参加者 7人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

山口県 6月3日～9月16日 於／山口県組合事務所 参加者 13人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

徳島県 ①6月13日～9月26日 計16回
於／阿波徳島職業訓練校 参加者 44人
②6月10日～9月30日 計12回
於／金岡作業場 参加者 26名

内容 製図、墨付け、刻み、組立

福岡県 6月24日、7月23日 於／福岡県組合会館 参加者 28人
内容 製図、墨付け、刻み、組立

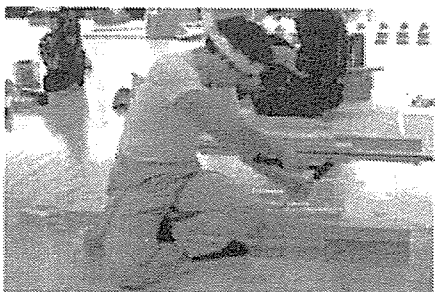
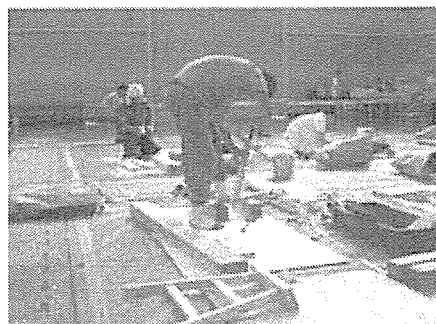
佐賀県 8月12、26日、9月2、16、23日 計5回

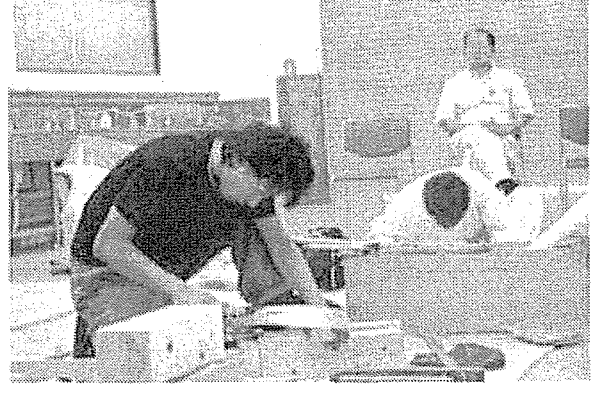
於/佐賀県組合事務所 参加者8人

内容 製図、墨付け、刻み、組立

大分県 7月23日~8月26日 計6回 於/大分県組合事務所

内容 製図、墨付け、刻み、組立 参加 8名





③ 若手技能者の技能向上研修会（フレッセ大工塾）

実施支部 徳島県（フレッセ）

日時 平成19年4月～平成20年3月の毎週土曜日

実技指導 午前9時～午後5時

学科指導 午後1時～午後4時30分

場所 実技講習 大工技能塾講師作業場

学科講習 フレッセ組合事務所会議室

講師 実技講習 フレッセ組合員の大工技能者3人

学科講習 （社）徳島県木造住宅推進協議会

内容 若手技能者（第1期生4人・第2期生4人）に対し、伝統的大工技能の研修を行う。

<基本的なカリキュラム>

- ・大工道具の手入れ、直し（さしがね、鋸、鑿、鉋等の手入れ）
- ・墨付けの基礎（順序、基本動作、通り芯、尺杖、柱杖等）
- ・造作材取付
- ・仕口、継手の基礎（木作、ヒカリ込み、ほぞ、蟻継ぎ等）
- ・建て前実習
- ・2級大工技能士試験対策等

第1期生修了式

日時 平成19年9月29日

場所 ホテルサンシャイン徳島アネックス

第2期生入学式

日時 平成19年10月6日

場所 多仁竹葉亭

得られた成果（効果）と成果の今後の活用

建築技術の基本を身につけ向上させるため、墨付け、仕口・継手などの実技を中心に学習。丸太から墨付けなどを行っている。

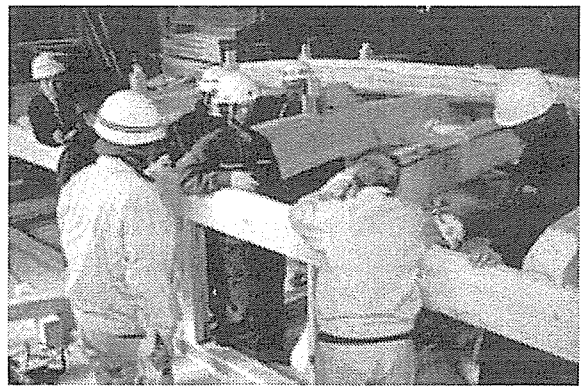
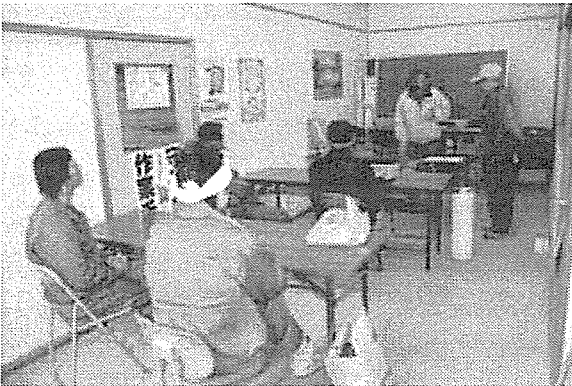
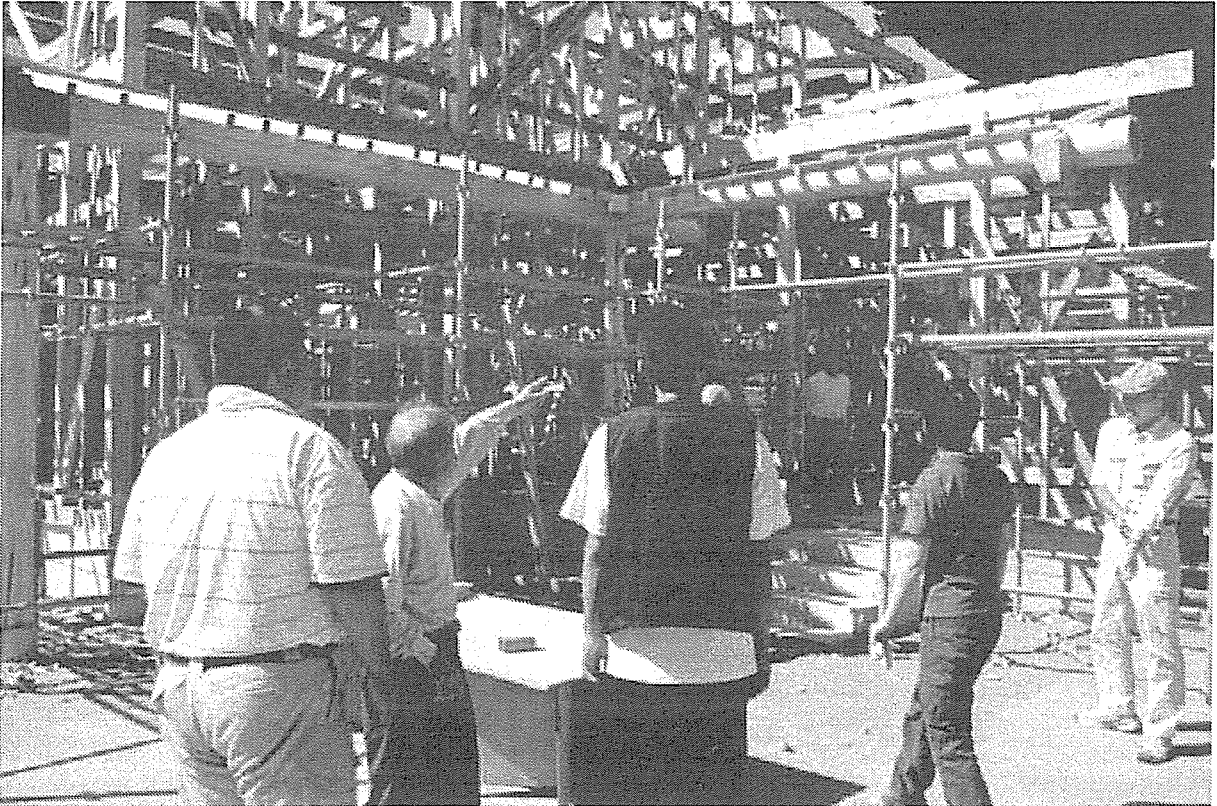
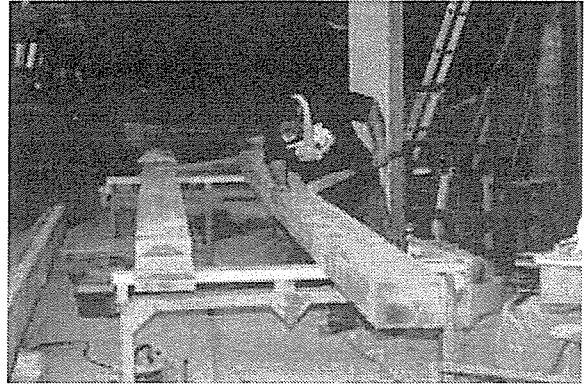
また、月1回の学科では、建築に関する法規や木造住宅の構造力学、材料などに関する基本的なものを学習している。

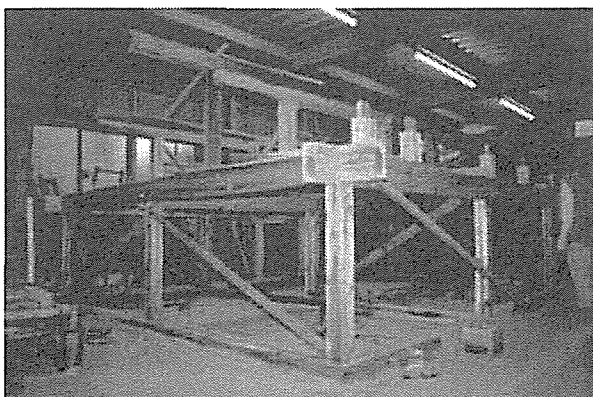
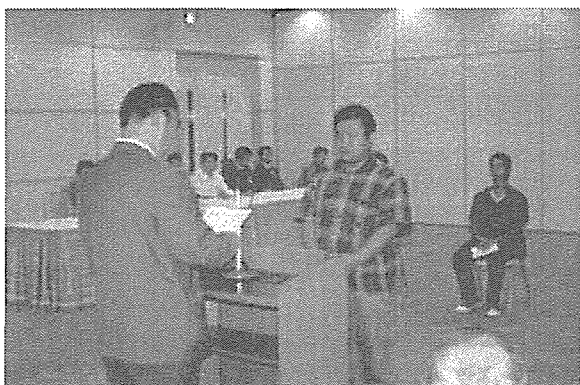
1期生は基本技術学習の他、寄せ棟の小屋組みや入母屋造りを丸太から墨付けなどを行い、建前までの作業を実施した。

2期生は経験年数の浅い生徒が多いため、基本技術（道具の手入れ、墨付け、仕口、継手など）を学習中。

また、月1回の学科では、建築に関する法規や木造住宅の構造力学、材料などに関する基本的なものを学習している。

実技を中心とした在来工法の修得のための実践的な講習会によって、技術の向上が図られている。大工技能の継承にも役立てていきたい。





フレッセ大工技能塾 実技・学科講習実施日一覧

| 開催日 | 開催内容 | | 備考 | |
|-----------|-----------|---------|------|-----------------|
| | (有)東建設 | フレッセ県本部 | | |
| 平成19年 | 4月7日(土) | 実技講習 | | |
| | 4月14日(土) | 実技講習 | | |
| | 4月21日(土) | 実技講習 | | |
| | 4月28日(土) | | 学科講習 | |
| | 5月5日(土) | 実技講習 | | |
| | 5月12日(土) | 実技講習 | | |
| | 5月19日(土) | 実技講習 | | |
| | 5月26日(土) | | 学科講習 | |
| | 6月2日(土) | 実技講習 | | |
| | 6月9日(土) | 実技講習 | | |
| | 6月16日(土) | 実技講習 | | |
| | 6月23日(土) | | 学科講習 | |
| | 6月30日(土) | 実技講習 | | |
| | 7月7日(土) | 実技講習 | | |
| | 7月14日(土) | 実技講習 | | |
| | 7月21日(土) | 実技講習 | | |
| | 7月28日(土) | | 学科講習 | |
| | 8月4日(土) | 実技講習 | | |
| | 8月11日(土) | 実技講習 | | |
| | 8月18日(土) | 実技講習 | | |
| | 8月25日(土) | | 学科講習 | |
| | 9月1日(土) | 実技講習 | | |
| | 9月8日(土) | 実技講習 | | |
| | 9月15日(土) | 実技講習 | | |
| | 9月22日(土) | | 学科講習 | |
| | 9月29日(土) | | | 修了式 入塾式(午前中) |
| | 10月6日(土) | 実技講習 | | |
| | 10月13日(土) | 実技講習 | | |
| | 10月20日(土) | 実技講習 | | |
| | 10月27日(土) | | 学科講習 | |
| | 11月3日(土) | 実技講習 | | |
| | 11月10日(土) | 実技講習 | | |
| 11月17日(土) | | 学科講習 | | |
| 11月24日(土) | 実技講習 | | | |
| 12月1日(土) | 実技講習 | | | |
| 12月8日(土) | 実技講習 | | | |
| 12月15日(土) | 実技講習 | | | |
| 12月22日(土) | | 学科講習 | | |
| 12月29日(土) | 実技講習 | | | |
| 平成20年 | 1月5日(土) | 実技講習 | | |
| | 1月12日(土) | 実技講習 | | |
| | 1月19日(土) | 実技講習 | | |
| | 1月26日(土) | | 学科講習 | |
| 合計 | 32 | 10 | | |

フレッセ大工技能塾 修了式次第

この日フレッセ大工技能塾
の修了式・入塾式を執り行う

- 1、開式の辞 副会長 山室 邦宏
- 1、修了証授与及び記念品贈呈
 - 1、主催者挨拶 塾長 小泉 幸昭
 - 1、来賓挨拶 徳島県土木事務所 住宅課長 武井 利行 様
 - 1、講師代表挨拶
 - 実技講師 東 啓夫 氏
 - 学科講師 武井 利行 氏
 - 1、修了生代表謝辞
 - フレッセ大工技能塾一創生 代表 山室 一人
 - 1、閉式の辞 副会長 山室 邦宏

フレッセ大工技能塾 修了生名簿

| 氏名 | 住所 | 電話番号 |
|-------|-------|-------|
| 山室 一人 | 徳島市西町 | 山室 邦宏 |
| 山室 邦宏 | 徳島市西町 | 山室 邦宏 |
| 山室 一人 | 徳島市西町 | 山室 邦宏 |
| 山室 一人 | 徳島市西町 | 山室 邦宏 |

フレッセ大工技能塾 講師・役員等名簿

- ▽講師陣
 - 実技講師 東 啓夫 氏、 東 啓夫 氏
 - 学科講師 武井 利行 氏、 武井 利行 氏
- ▽専任・副専任
 - 塾長 小泉 幸昭 氏 (土木技術士)
 - 副専任 武井 利行 氏 (土木技術士)
 - 副専任 山室 邦宏 氏 (土木技術士)
- ▽フレッセ
 - 代表 山室 一人 氏 (土木技術士)
 - 副代表 山室 邦宏 氏 (土木技術士)
 - 役員 山室 一人 氏 (土木技術士)
 - 役員 山室 邦宏 氏 (土木技術士)
 - 役員 山室 一人 氏 (土木技術士)
 - 役員 山室 邦宏 氏 (土木技術士)

「自信をもって仕事に打ち込みたい」

～大工技能塾 修了式・入塾式～



修了証を受け取る1期生

2年間の講習を終えたフレッセ大工技能塾・1期生の修了式が、9月29日午後5時から徳島市のホテルサンシャイン徳島アネックスで行われました。生徒4人の門出を祝い、来賓の徳島県住宅課・武井利行課長や講師陣、県本部3役など20人が出席しました。また、10月6日には、2期生の入塾式が午前10時から佐那河内村の「多仁竹葉亭」で行われました。入塾式には、2期生4人と小泉塾長、向井副塾長、実技・学科講師陣など13人が出席しました。

修了式では、まず2年間の講習を終えた1期生4人に、向井副塾長から修了証と記念品が手渡されました。そして、主催者を代表して、向井副塾長から祝辞があり、2年間の振り返りなどのあと、「この塾でつちかかった技術・技能を活かし、徳島県の在来住宅課・武井課長から1期生の努力をたたえる言葉をいただきました。最後に1期生4人を代表して、由緒一人さんから謝辞があり、来賓や講師陣に対するお礼の言葉と、「2年間かけて大工技能塾で学んだ様々な技能や知識を今後の仕事に活かし、自信を持って県内の若年大工の先頭に立って、仕事に打ち込みたい」と決意の言葉がありました。

また、新たに4人の2期生を迎えられた入塾式があり、「この2年間で身につけた努力を、あらゆる方面に活かしてほしい。なかでも徳島県が推進している耐震改修などにも、積極的に活かしてもらいたい」と言葉がありました。

続いて、2年間熱心な指導を行った講師陣を代表して、実技の東講師と学科の渡辺講師から祝辞がありました。

④ 若手技能者の実技講習会（全建総連全国青年技能講習会）

日時 平成 19 年 10 月 2 日（火）～4 日（木）

午後 2 時 00 分～午前 11 時 00 分

場所 福井県福井市「福井県産業会館」

内容 支給材料を用い、制限時間内に、課題図に示した課題を製作する。

作業順序：現寸図の製作→部材の木削り→墨付け→加工仕上げ→組み立て

参加者 79 人（38 県支部）

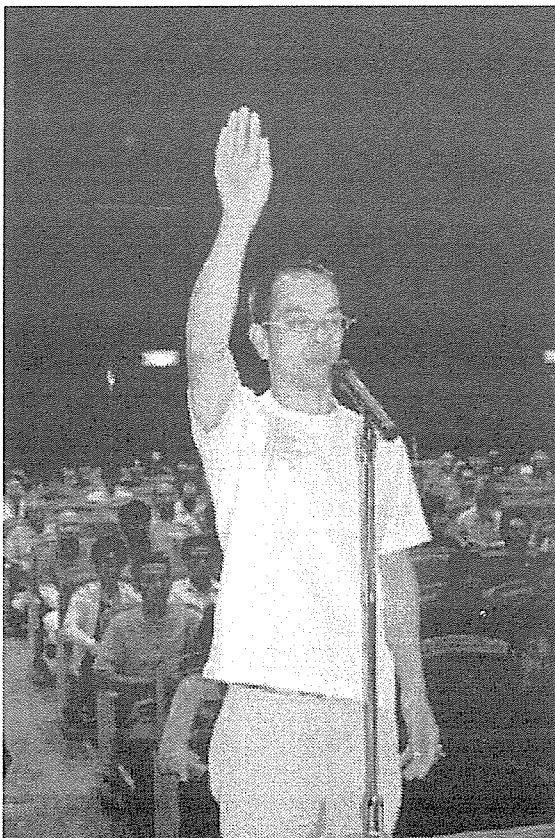
結果と表彰 金賞、審査員特別賞各 1 人、銀賞 2 人、銅賞 3 人、入賞 10 人

実行委員会の開催

講習内容、審査基準等について協議するため実行委員会を開催した。

得られた成果（効果）と成果の今後の活用

都道府県ごとの技術・指導水準に見られていた格差が少なくなってきており、講習会で得た技術を現場で活用し技術水準を誇示することにより、さらなる木造住宅の振興を図っていくとともに、参加者の増加を図っていききたい。



若手技能者の技能向上のための実技講習会

(全建総連全国青年技能講習会) 実施報告

1. 実行委員会の開催

会議名 全建総連全国青年技能講習会実行委員会

場 所 神奈川県横浜市「建設プラザかながわ」

日 時 2007 年 8 月 22 日午後 1 時～午後 4 時、23 日午前 9 時～10 時

出席者 遠藤安男、古澤昌之、河合秀夫、菰田勇司、大橋久光、川上三寶、
木下勝三郎、川元傳、大野恵右、渡辺行雄、桑田忠義、長濱 泉
清水正彦、今村旬之介

(事務局) 越智薫史、池田 勇、信太知巳

議事 ①会場の準備状況について

面積・・・2,046 m² (35.0m×58.5m)

天井高・・・高 9.0m／低 6.0m

床荷重・・・3.0 t / m²

搬入出口・・・幅 4.6m×高さ 5.4m 4ヶ所

幅 4.0m×高さ 4.2m 2ヶ所

福井県産業会館 1 号館で講習会を実施する。実技講習用区画は 80 人の設置とする。床面をはじめとした場内各所の養生は、最低限のもので可となっているが、直射日光をさえぎる設備がないため、ガラス部分に加工を施すなどの対応。窓は高い位置に設置されているため、あらかじめ設営業者との調整が必要。1 階実技場内は選手以外は立ち入り禁止とする。

②講習会の受付について

事前申し込みを受けていた選手・指導陣が来場次第、必要な資料を配布する。

③当日の指導員、審査員、補佐の体制について

中央技能検定委員 3 人と、開催県で技能検定委員などを担当している 3 人の合計 6 人が中心となり採点作業を行なう。例年同様、場内補佐役として青年部幹事が図面や課題を採点室へ持ち込むこととする。合わせて青年部幹事は、参加選手への指導・監督などを担当する。技術対策部・組織部担当役員は、主として観客への指導・監督を担当する。

④採点基準と審査内容について

事前に決定済みの採点基準を使用する。図面の正確さと、課題のすき間、脚部などがたつきなどの他、審査員や青年部幹事などへの言動および作業態度についても審査対象とする。

2、平成19年度全建総連全国青年技能講習会の開催

①日時 2007年10月2日(火)～10月4日(木)

午後2時00分～午前11時00分

②開催場所

福井県福井市「福井県産業会館」

③主催者 全建総連全国青年技能講習会実行委員会

④講習の内容

課題図に示した支給材料を用いて、6時間の実技時間で四方転び踏み台を製作する。課題は10分の3勾配とし、作業順序は次の通りとする。

現寸図の製作(提出) → 部材の木削り → 墨付け → 加工仕上げ → 組み立て

⑤参加者数(参加者名簿を添付していただいても結構です)

開催当日35歳以下の79人

⑥結果と表彰状の授与

金賞《厚生労働大臣賞、福井県知事賞、福井市長賞》北澤 圭太(建設埼玉)

銀賞《厚生労働省職業能力開発局長賞、福井県建設専門工事業団体連合会長賞》

伊木 秀樹(兵庫県連)

銀賞《林野庁長官賞、福井県職業能力開発協会会長賞》竹本 哲己(広島建労)

銅賞《国土交通省住宅局長賞、福井県技能士会連合会長賞》

飯島 淳(建設埼玉)

銅賞《福井県職業訓練協会会長賞、中央職業能力開発協会会長賞》

藤谷 辰徳(建設埼玉)

銅賞《福井県連会長賞、福井県建築士会長賞》

鎌島 正博(兵庫県連)

入賞

山本 秀康(山形県連)、木村 誠(埼玉土建)、平田 貴彦(東京都連)、

増山 剛(富山県連)、村林 成一(三重建労)、福田 幸義(兵庫県連)、

持田 真宏(島根建連)、山本 博之(建労岡山)、藤原 裕二(建労岡山)、

山下 亨(鹿児島建設)

審査員特別賞《全国青協議長賞》山本 秀康(山形県連)

制限時間内に課題を完成させた選手には奨励賞を授与

⑦得られた成果(効果)と成果の今後の活用について

講習会開催以前は、都道府県ごとの技術・指導水準にかなりの格差が見られていた。開催後は、参加した都道府県に関しては一定の平準化が図られてきている。今後は、講習会で得た技術を現場で活用し技術水準を誇示することにより、さらなる木造住宅の振興を図っていくこととしたい。

課題図に示す支給材料を用いて、仕様概要に従い四方転び踏み台を製作しなさい。

1. 実技時間 6 時間

2. 材料

- (1) 支給材料の断面寸法は、仕上がり寸法より 1 mm 大きく、機械かんな削りされたものである。材料の樹種はメラピとする。
- (2) 選手 1 人につき、丁板 90mm を 2 枚、掛金 300mm を 1 丁、削り台および削り台用のくぎ若干、きざみ台、1 m の直定規、接着剤を支給する。
- (3) 材料の交換については、検定委員立会いのもと青年部幹事の判断により行うものとする。

| 支給品 | | | |
|-----|--------|------------|-----|
| 天板 | (二ツ切り) | 850×111×31 | 1 枚 |
| 柱 | | 700× 51×31 | 4 本 |
| 貫 | A | 470× 61×31 | 1 本 |
| | B | 420× 41×31 | 1 本 |
| | C | 540× 41×31 | 1 本 |
| | 掛 金 | (300) | 1 本 |
| 金物 | 丁板鉄 | 90 | 2 枚 |

3. 仕様概要

(1) 課題は 10 分の 3 勾配とする。

(2) 作業順序

現寸図の製作 (提出) → 部材の木削り → 墨付け → 加工仕上げ → 組み立て

(3) 現寸図の製作

①現寸図は、A 0 版ケント紙 (約 110×80cm) 2 枚へ明確に表現すること。

②課題図により、部材の墨付け・工作などに必要とする、真墨・陸墨・取合墨その他の墨を示す。なお、選手が墨付けに必要と思われる規矩上の図面などは、書いても差し支えない。

③現寸図の配置は、課題図に示してあるものを参考として下記の現寸図を書くこと。

天板平面図、正面図、側面図、柱展開図、基本図 (100mm を基本とし各名称を入れる)、柱のくせ (木口) とし、天板平面図及び正面図は中心線より右半分とする。ただし、重複しないこと。なお、柱展開図 (側面) に A 貫、および B・C 貫の位置を書き入れる。

④現寸図が書けた選手は、現寸図に席番号だけを書き実行委員に申し出る (採点后返却する)。

(4) 木削り

①支給材料は、課題図・現寸図の仕上がり寸法に正しく木削りする。

②柱はくせを取り仕上げる。

- (5) 墨付け
- ①部材の墨付けは、墨さし又は鉛筆とする。
 - ②部材の墨付けは、工作に必要なすべての墨付けを行うこと。
 - ③ほぞおよびほぞ穴は、けびきでもよい。
- (6) 各部材の仕口
- ①下記に示す部材の仕口により、必要なる工作を行ない、部材の見え掛かりとなる木口は、すべてかな削り仕上げとし、接合部分を除き、糸面取りとする。
 - ②天板と柱の取合 打ち抜きほぞ差し
 - ③柱と貫 打ち抜きほぞ差し（正面は欠取り）
- (7) 組み立て
- ①組み立てに入る前に作業場を清掃し、組み立てる。
 - ②丁板の取り付けは、天板下端に外側から 30mm で当り欠きをして取り付ける（木ねじはドライバーにて締め付ける）。
 - ③掛金は右側面に取り付ける（課題図参照）。
 - ④製品は接着剤を使用し、くぎおよびくさび打ちをしてはならない。
- (8) 製品の提出
- ①組み立てが完了した選手は、席番号を記載し、実行委員に申し出る。
 - ②製品とともに、現寸図を提出する。
 - ③提出された製品には、いかなる理由があろうとも、選手は一切手を触れることはできない。

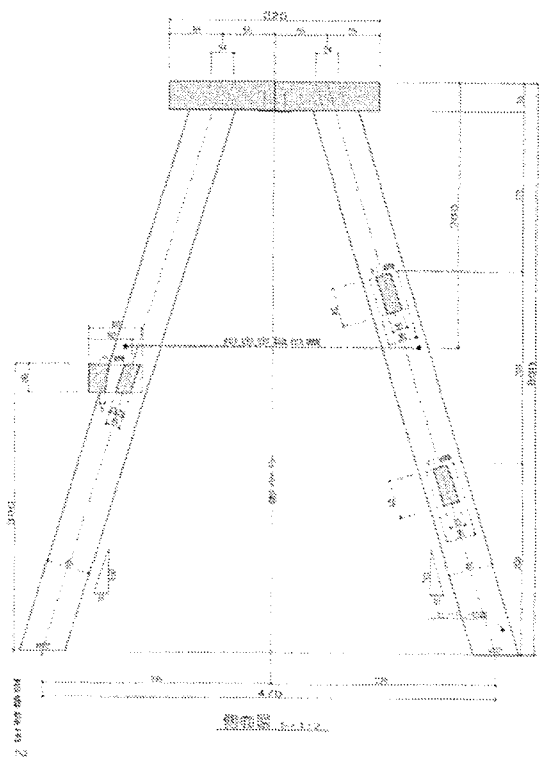
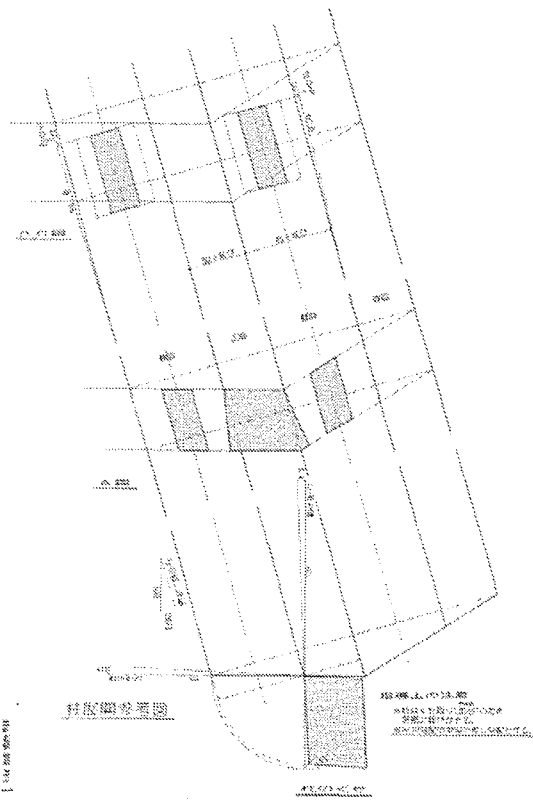
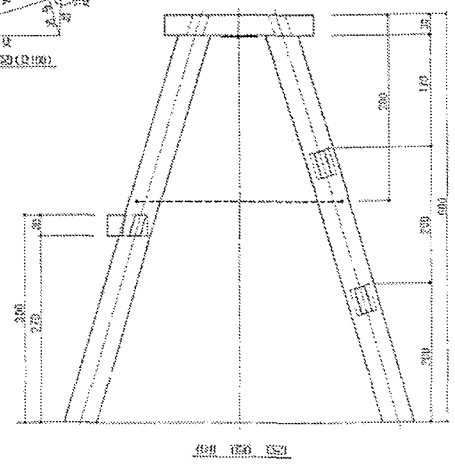
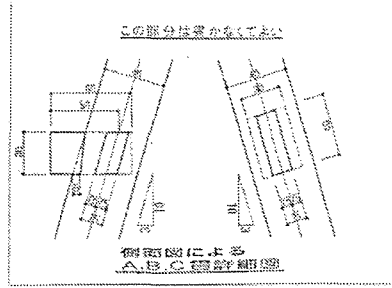
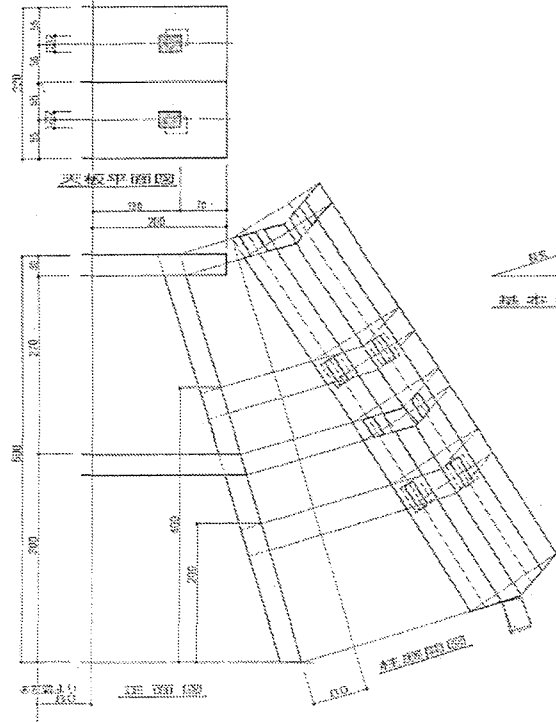
平成 19 年度全建総連全国青年技能講習会 参加名簿

| 背番号 | 氏名 (フリガナ) | 生年月日 | 県連・組合 | 備考 |
|-----|--------------------|-----------|--------|----|
| | 阿部 昌弘 (アベ マサヒロ) | S51.05.04 | 北海道連 | |
| | 七夕 直央 (タナバタ ナオ) | S56.06.25 | 北海道連 | |
| | 似内 真司 (ニナイ シンジ) | S55.06.15 | 岩手県連 | |
| | 米田 好仁 (マイタ ヨシヒト) | S47.04.01 | 岩手県連 | |
| | 川村 秀一 (カワムラ シュウイチ) | S48.03.08 | 宮城県連 | |
| | 千葉 和也 (チバ カズヤ) | S55.10.07 | 宮城県連 | |
| | 村上 一城 (ムラカミ カズキ) | S55.06.14 | 宮城県連 | |
| | 熊谷 耕二 (クマガイ コウジ) | S51.04.30 | 秋田建労 | |
| | 佐藤 圭悟 (サトウ ケイゴ) | S49.03.25 | 秋田建労 | |
| | 高橋 広光 (タカハシ ヒロミツ) | S51.03.09 | 山形県連 | |
| | 斎藤 光弘 (サイトウ ミツヒロ) | S48.08.08 | 山形県連 | |
| | 山本 秀康 (ヤマモト ヒデアス) | S61.02.23 | 山形県連 | |
| | 藤倉 広志 (フジクラ ヒロシ) | S57.03.10 | 全建総連福島 | |
| | 佐藤 敏行 (サトウ トシユキ) | S58.04.30 | 全建総連福島 | |
| | 三代 真一 (ミヨ シンイチ) | S56.04.09 | 茨城県連 | |
| | 川又 俊明 (カワマタ トシアキ) | S52.08.24 | 茨城県連 | |
| | 谷田部恭治 (ヤタベ キョウジ) | S54.01.26 | 栃木建労 | |
| | 須藤 淳 (スドウ アツシ) | S51.05.26 | 群馬県連 | |
| | 大野 泰寛 (オノ ヤスヒロ) | S56.04.23 | 群馬県連 | |
| | 藤谷 辰徳 (フジヤ タツリ) | S56.06.24 | 建設埼玉 | |
| | 飯島 淳 (イジマ アツシ) | S57.05.07 | 建設埼玉 | |
| | 北澤 圭太 (キタザワ ケイタ) | S58.05.10 | 建設埼玉 | |
| | 木村 誠 (キムラ マコト) | S51.07.10 | 埼玉土建 | |
| | 多比良和矢 (タビラ カズヤ) | S54.10.16 | 埼玉土建 | |
| | 福島 教仁 (フクシマ ノリヒト) | S52.11.13 | 埼玉土建 | |
| | 田中 洋晃 (タナカ ヒロアキ) | S50.01.20 | 千葉土建 | |

| | | | | |
|--|--------------------|-----------|---------|--|
| | 中島 宏和 (ナジマ ヒロズ) | S48.05.16 | 千葉土建 | |
| | 平田 貴彦 (ヒラタ タヒコ) | S58.05.14 | 東京都連 | |
| | 林 陽一 (ハヤシ ヨウイチ) | S47.12.23 | 東京都連 | |
| | 下村 智治 (シモムラ トモヒル) | S52.05.17 | 東京都連 | |
| | 渡辺 良一 (ワタナベ リョウイチ) | S48.07.08 | 神奈川県連 | |
| | 原田 登 (ハラダ ノボル) | S54.11.22 | 神奈川県連 | |
| | 甲田 澄夫 (コウダ スミオ) | S49.08.23 | 神奈川県連 | |
| | 増山 剛 (マヤマ ツヨシ) | S54.04.07 | 富山県連 | |
| | 山下 敦 (ヤマタ アツシ) | S50.06.14 | 富山県連 | |
| | 河津 慎也 (カヅ シンヤ) | S54.11.20 | 石川県連 | |
| | 木村 聡 (キムラ サトシ) | S59.06.23 | 石川県連 | |
| | 皿山 直人 (サライマ ナオト) | S53.07.31 | 福井県連 | |
| | 辻 一憲 (ツジ カズノリ) | S58.04.18 | 福井県連 | |
| | 兒玉 富治 (コタマ トシジ) | S48.02.16 | 長野県建設労連 | |
| | 田口 卓也 (タグチ タカヤ) | S48.01.24 | 長野県建設労連 | |
| | 塚本 友征 (ツカモト トモユキ) | S55.01.21 | 岐阜建労 | |
| | 小野 友也 (コノ トモヤ) | S56.08.18 | 岐阜建労 | |
| | 天野 康徳 (アマノ ヤスリ) | S51.11.30 | 静岡建労 | |
| | 村林 成一 (ムラバヤシ セイイチ) | S56.07.02 | 三重建労 | |
| | 中川 裕嗣 (ナカガワ ヒロシ) | S51.12.27 | 三重建労 | |
| | 村雲 勉 (ムラクモ ツトム) | S52.02.11 | 三重建労 | |
| | 有馬 茂 (アリマ シゲル) | S48.09.26 | 京都建労 | |
| | 深田健太郎 (フカダ ケンタロウ) | S60.01.19 | 京都建労 | |
| | 福田 幸義 (フクダ ユキヨシ) | S52.09.21 | 兵庫県連 | |
| | 伊木 秀樹 (イキ ヒデキ) | S49.12.24 | 兵庫県連 | |
| | 鎌島 正博 (カマシマ マサヒロ) | S50.10.06 | 兵庫県連 | |
| | 山口 誠 (ヤマグチ マコト) | S57.01.17 | 奈良建築 | |
| | 山根 雅人 (ヤマネ マサト) | S50.09.28 | 鳥取県連 | |

| | | | | |
|--|--------------------|-----------|-------|--|
| | 熊谷 真貴 (クマガイ マサキ) | S49.01.13 | 島根建連 | |
| | 持田 真宏 (モチダ マヒロ) | S54.12.11 | 島根建連 | |
| | 三輪 浩司 (ミワ コウジ) | S47.05.16 | 島根建連 | |
| | 山本 博之 (ヤマモト ヒロユキ) | S47.12.30 | 建労岡山 | |
| | 藤原 裕二 (フジワラ ユウジ) | S49.03.14 | 建労岡山 | |
| | 竹本 哲己 (タケモト テツミ) | S47.05.29 | 広島建労 | |
| | 石田 諭史 (イシダ ユシ) | S53.10.18 | 広島建労 | |
| | 猶 真一郎 (ナオ シンイチロウ) | S53.09.20 | 建設山口 | |
| | 大畠 高弘 (オオハタ タカヒロ) | S51.09.09 | 建設山口 | |
| | 切上 茂典 (キリガミ シゲノブ) | S50.07.03 | 徳島建労 | |
| | 衣川 且人 (キヌカワ カツヒト) | S53.12.31 | 徳島建労 | |
| | 山伏 健一 (ヤマブシ ケンイチ) | S57.03.14 | フレッセ | |
| | 曾江 琢己 (ソエ タクミ) | S60.11.24 | フレッセ | |
| | 近藤 将光 (コトウ マサミツ) | S48.10.26 | 香川建労 | |
| | 岡崎 吾郎 (オカザキ コロウ) | S50.05.05 | 香川建労 | |
| | 石元 周一 (イシモト シュウイチ) | S51.11.05 | 愛媛建労 | |
| | 富永 清志 (トミナガ キヨシ) | S48.04.11 | 愛媛建労 | |
| | 古田 晃智 (フルタ テルトシ) | S59.09.21 | 高知建労 | |
| | 吉山 亮爾 (ヨシヤマ リョウジ) | S52.11.03 | 福岡建労 | |
| | 空本 忠明 (ソラモト タダアキ) | S50.09.16 | 福岡建労 | |
| | 岡崎 勇二 (オカザキ ユウジ) | S50.02.11 | 福岡建労 | |
| | 上瀧 隆之 (ジョウタキ タカユキ) | S56.09.01 | 佐賀建連 | |
| | 小川 友也 (オカワ トモヤ) | S51.03.05 | 建設長崎 | |
| | 里森 潤 (サトモリ ジュン) | S52.10.05 | 建設長崎 | |
| | 山下 亨 (ヤマシタ トオル) | S51.05.27 | 鹿児島建設 | |

図 4.2 全館平面図と柱配置図



事業番号（２）木材の利用及び木造住宅の生産に係る技術の開発等

福井の家づくり仕様検討

背景と目的

地域に適した県産材を活用し、適正な品質と適正な価格、良質な技能の提供により、良質な木造住宅を提供することが求められている。県産品の積極的な活用は、地域の事業者の育成とあわせて県内関連産業の発展に寄与することから、「福井県県産品活用連携協議会」が発足しており、こうした動きにも連携していくことも求められている。地域の特性に適い、なおかつ瑕疵保証制度、性能表示制度、シックハウス対策に適合した住宅の仕様を開発、技術基準の開発、施工・監理基準の開発を行う。

「福井の家づくり」の仕様を活用した、奥田徹氏による設計提案は財団法人住宅産業研修財団主催「第５回真の日本のすまい」に応募され、国土交通大臣賞を受賞した。

委員 本間茂、福井正宏、山内喜代治、田中健一、竹田潔延、二俣昭、橋本潔、齊藤誠、藤田満雄、河合秀夫、濱本健一郎、野村和則、竹山丈志、中弥実、森利幸、山口真広、志田雅之、中川志津夫、

実施日 ６月４日、７月３１日、８月３日、８月１３日、８月１７日、１０月１５日、
１０月２３日、１１月１４日、１１月１６日、１月３１日

得られた成果（効果）と成果の今後の活用

納得のいく価格で、地産の良質住宅を提供するための基礎が出来上がった。

討議内容

第１回 「ゆうゆう住宅」の地盤改良と保証について

第２回 工務店協会メンバーによる打ち合わせ事前協議

- (1) 地盤調査基準への対応について
- (2) 確認申請の審査基準厳格化に伴う対応策について
- (3) ８月３日打ち合わせのとりまとめ方針について

第３回 福井の家推進工務店協会打ち合わせ協議

- (1) 「福井の家」指標について
- (2) 「福井の家」建築基本事項について
- (3) 地域の技術、技能の活用と技能継承について
- (4) 建設資材系県産品の活用について

第４回 福井の家推進工務店協会打ち合わせ協議

- (1) 福井の家検証住宅の募集方法について
- (2) 検証住宅のルール作り

第５回 福井の家推進工務店協会打ち合わせ協議

- (1) 検証住宅の募集方法の作成
- (2) 検証住宅のルール作り

第６回 福井の家推進工務店協会打ち合わせ協議

- (1) 福井の家「I型」の見積方式の現状
- (2) PR・販売組織立ち上げ

第７回 福井の家推進工務店協会打ち合わせ協議

- (1) 福井の家のデザイン面の現状
- (2) 開発組織の現状

「福井の家」建築設計資料

目次

| | |
|-----------------|------|
| 1 「福井の家」の経緯 | →P.1 |
| 2 「福井の家」建築計画の経緯 | →P.2 |
| 3 「福井の家」の経緯 | →P.3 |
| 4 「福井の家」建築基本事項 | →P.4 |
| 5 「福井の家」設計・施工経緯 | →P.5 |
| 6 「福井の家」の建築概要 | →P.6 |
| 7 「福井の家」の設計資料 | →P.7 |

平成27年2月21日

<福井の家の経緯>

- 1) 長年計画し、福井の風土と暮らしに適合し、建築が環境や日々の生活であると共に在居の健康やライフスタイルを構築し、もって暮らしに安心の住居を創出すること。
- 2) 併せて、木材をはじめ各種の良素材の活用を求め、木造住宅建築が環境の美観や健康・快適性の向上に果たす役割を追求していく。

<福井の家建築基本事項>

- 1) 本建築は、「福井の家」の建築概要を明確にするものと基本となります。
- 2) 「財団法人住宅保証機構」の保証制度等により10年間の保証制度を設けます。
- 3) 敷地については地盤調査を行い、適切な地盤改良工事を実施します。
- 4) 設計は、「福井の家設計事務所」が行い、構造計算等により構造的安全性を確保します。
- 5) 価格は、「福井の家設計事務所」も、設計段階より「福井の家の建築概要」を示すことでのりかきかつ価格比較がしやすいものとします。
- 6) 施工期間は、「福井の家の建築概要」をふまえて契約します。
- 7) 施工は、契約設計、設計者の指導、施工品質の確保、誠意ある対応を旨とした「福井の家建築概要」によって行います。
- 8) 設計事務所による工事監理も基本は、中間点検制度を「施工監理」で行います。
- 9) 設計・施工も建築士事務所で行い、引渡し後のメンテナンスも責任を持って行います。
- 10) 価格の提示は建築士事務所、建築士による「建築概要」に基づき、設計・施工期間中の設計・監理の業務に含められます。

<福井の家建築概要事項設計>

- 1) 本建築により福井の家の建築概要を明確にするものと基本となります。
 - (1) 建築した住宅の性能を「住宅の高品質確保の促進等に関する法律(高品質法)」平成11年制定)で定められた「日本住宅性能評価基準」により明確にします。
 - (2) 「福井県住宅モニター(高品質住宅性能評価制度)」で住宅性能評価を申請し、「住宅性能評価報告書」「優良住宅性能評価報告書」を取得することと基本となります。
 - (3) また、「住宅性能評価法」を定めない場合は、高品質による「日本住宅性能評価基準」の一部については自動承認します。
 - (4) 福井県の「住宅と暮らしの住まい実証事業」による「住宅性能評価制度」受付けもを基本とします。平成27年度実施要領→46頁、プラト上巻資料→203頁)
- 2) 「財団法人住宅保証機構」の保証制度に加入し10年間の保証制度を設けます。
 - (1) 「保証法」第 28 条以上の義務付けられている住宅の「構造耐力上主要な部分」を「耐震の耐力を超過する部分」の10年間の定期保証、については「財団法人住宅保証機構」の保証制度等に加入することで行います。
 - (2) 上記以外の建築した住宅の建築などがあっても保証は行われません。
- 3) 敷地については地盤調査を行い、適切な地盤改良工事を実施します。
 - (1) 「福井の家」の建築概要も基本は、すべて敷地の地盤調査を前提とします。
 - (2) 地盤調査の経緯により、必要に応じて地盤改良工事を行います。
 - (3) 地盤調査、地盤改良の経緯や費用、地盤改良工事については、設計・監理の業務概要を調査します。
- 4) 設計は、「福井の家設計事務所」が行い、構造計算等により構造的安全性を確保すること。
 - (1) 設計者は、「福井の家設計事務所」にて依頼された設計事務所の建築士事務所が設計を行います。
 - (2) 設計は、「福井の家設計事務所」が「福井の家設計概要」などをふまえて、設計を行います。かつ、住宅設計情報提供事業「家づくり安心」も基本とします。
 - (3) 当該事業設計は、設計事務所が「福井の家」の各種建築や総合的技術的知識に適合して「家づくり安心」の情報提供を行い、設計の適合性を確保します。
 - (4) 顧客への設計内容の説明は、設計概要の作成、各種基準への適合性、内容調査の経緯、「日本住宅性能評価法」による評価などについて十分に説明します。

(1) 設計者の設計は「福井の家設計事務所」が、建築士事務所で行います。

- 3) 価格は、「福井の家設計事務所」を基本とした「福井の家建築概要」を前提とし、おのりかきかつ価格比較がしやすいものとします。
 - (1) 「福井の家の建築概要」を前提とし「住宅性能評価報告書」取得したものを「福井の家設計概要」です。これにより「建築概要」の提示も「福井の家建築概要」になります。
 - (2) 「福井の家設計事務所」が「福井の家建築概要」を「おのりかき」して提示し、価格を提示する住宅の性能が「質」「価格」両者が両立が価格が安いこととします。
 - (3) 敷地の住宅の建築は、標準的なコストでの価格を基本とします。

(4) 施工期間は「福井の家」の建築概要をふまえて契約します。

- (1) 契約書は、次の事項を入れます。
 - ① 「住宅性能評価報告書」「優良住宅性能評価報告書」の取得に関すること
 - ② 「財団法人住宅保証機構」の保証制度に加入に関すること
 - ③ 「福井の家設計事務所」に関すること
 - ④ 本「福井の家建築概要」における各項目
- (2) 契約書では特に次の事項を明確にします。
 - ① 建築士の資格レベル
 - ② 設計者のレベル
 - ③ 品質管理及び報告のレベル
 - ④ 設計概要のレベル
 - ⑤ 引渡しのレベル
 - ⑥ 完成後のメンテナンス
 - ⑦ 各種メンテナンスの期間の延長レベル

(7) 施工は、契約設計、設計者の指導、施工品質の確保、誠意ある対応を旨とした「福井の家建築概要」によって行います。

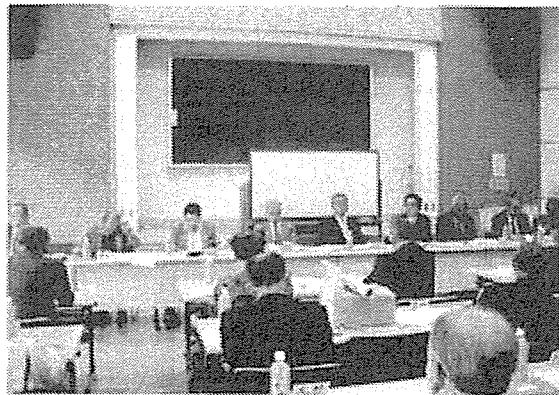
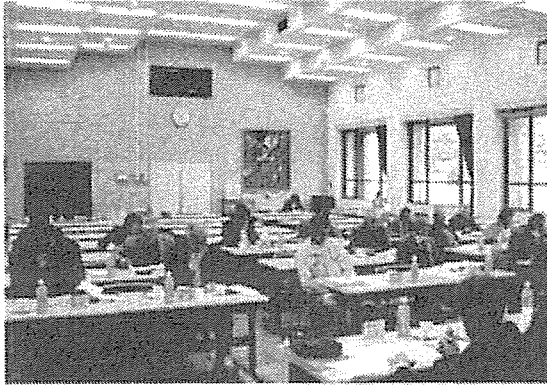
- (1) 施工は、設計概要に基づき「福井の家」の建築概要が行います。
- (2) 施工業者は「福井の家」の設計概要、設計概要の建築概要から顧客の要望をふまえて設計します。
- (3) 施工は、契約設計、設計者の指導、施工品質の確保、誠意ある対応によって行います。
- (4) 「住宅性能評価報告書」の取得も基本とします。
- (5) 施工品質確保に適合するものにより「家づくり安心」の情報提供を行い、その結果を顧客に

Table with 3 columns: 姓名 (Name), 性别 (Gender), 年龄 (Age). Rows contain student information.

Table with 3 columns: 姓名 (Name), 性别 (Gender), 年龄 (Age). Rows contain student information.

Table with 3 columns: 姓名 (Name), 性别 (Gender), 年龄 (Age). Rows contain student information.

Table with 3 columns: 姓名 (Name), 性别 (Gender), 年龄 (Age). Rows contain student information.



<国土交通大臣賞受賞作の計画主旨>

小住宅にとって必要なものは、高さではなく、実際に使用できる床の広さであり、あわせて視覚的な広さを確保することである。床が狭小であればあるほど、室内は家具であふれ手狭となる。必要な箇所に必要な家具を当初から設定しておくことが大切である。

小屋裏を利用したロフトは床の小ささを解消する有効な手法である。しかし、通常の天井裏の高さに設置したのでは、日常的な利用は不可能である。ここではロフトの床高さを2階床から2.1mとし、大人が手を伸ばせば届くほどの低さに設定している。ロフト下部の天井高さは2.0m。建物本体から厚板を跳ね出すことで薄いスラブを形成し、直接の天井とした。居室や廊下の天井を一樣に高くする必要はない。高い所と低い所とを不都合な区利用できるようあらかじめ計画しておけばよい。

そのようにしてつくられた広いロフトは、家の中心にそして非常に開放的に置かれている。2階床は子どもの成長に合わせて<部分>に分割されていくものの、ロフトからの視界はそれらの部分をつなぎ<全体>を覆う。家族とはくひとつ屋根の下で暮らす>ことを指す。また、このロフト層は住宅全体の環境調整をつかさどる部分である。気持ちよく光を導き風を通す。床下の温度は夏昼夜を問わず27℃前後、風下側の高窓を開放すれば、たちまちにして家全体の空気は冷たい空気に入れ替わる。1住1室の長所である。

<7つの基本理念への対応>

■生命を守る住まい

居間中央に立つ2本の柱は棟持ち柱であり、直接地棟を支え、家の核となる。外周部だけでなく、内部にも貫による耐力壁を適切に配置し、明快で無理のない構造計画としている。

■病氣をつくらない住まい

スリッパを履かず床を素足で歩く心地よい住まい。日常生活とは隔離したロフト空間は茶室的な瞑想空間であり、住む人の心を癒し生命力を高める。

■財産を守る住まい

室内側の構造材をあらわしとすることで、保守点検等を容易にし、住宅の長寿命化を図る。

■気候風土を活かした住まい

近隣と住戸に遠慮なく自然光・自然の風を最大限取り入れ可能な窓配置としている。

■地球環境を大切にしたい住まい

夏：自然の風を活かした通風計画および床下の冷気を活かしたパッシブクーリングの採用

冬：南面の引き込み障子による、日射取得率の向上（パッシブヒーティング）と夜間の開口部断熱補強。

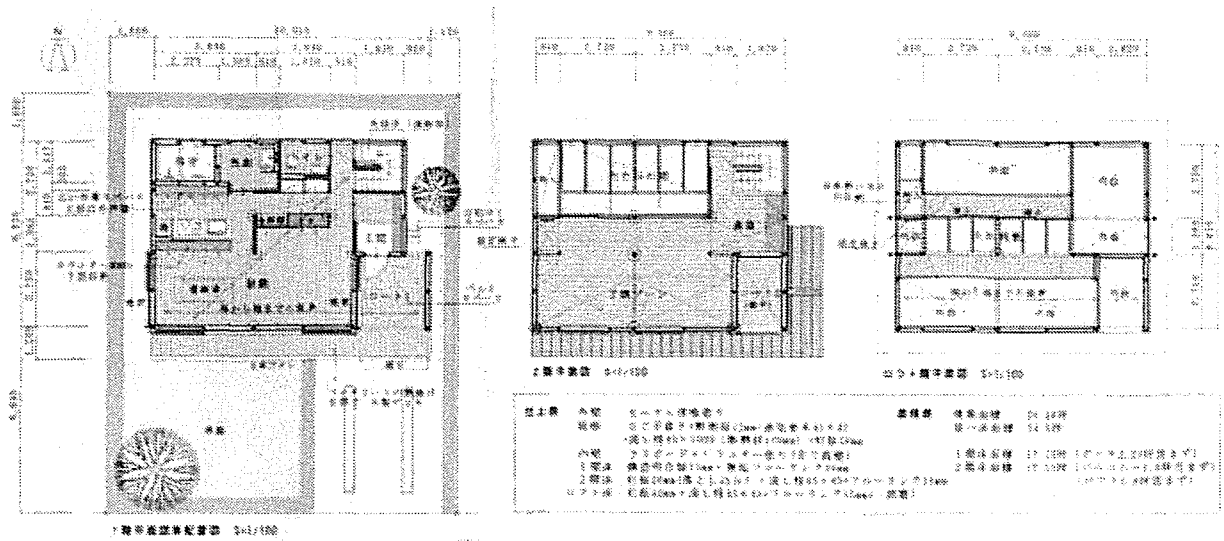
■日本の伝統・文化を受け継ぎ、人格形成の場となる住まい

家具を持ち込まない床座中心の住生活。ロフトを含めた子どもゾーンは、成長過程に応じてさまざまに展開できる広さと魅力にあふれている。

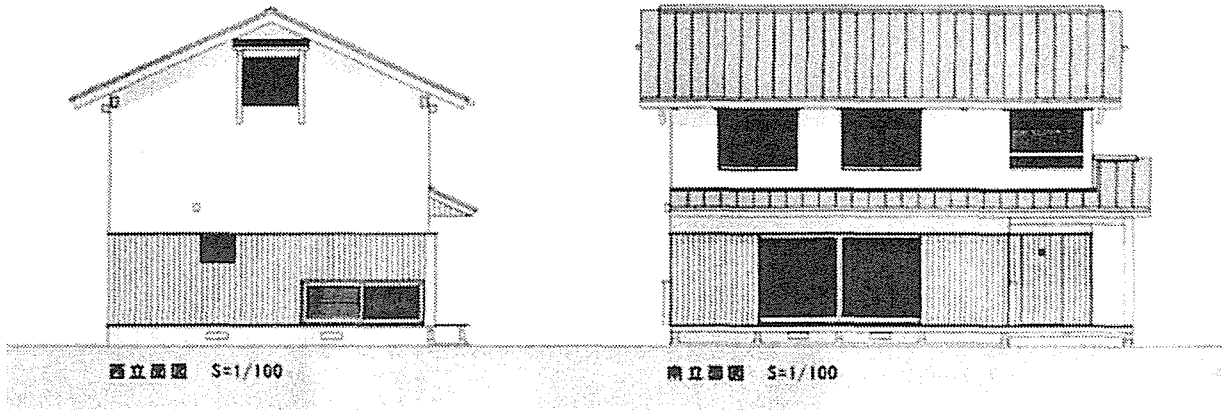
■高齢者や障害者が自立して暮らせる住まい

高齢单身となっても動物（ペット）と共生し、孤立することのない住まい。車椅子にも対応しやすいルーフ状プラン。

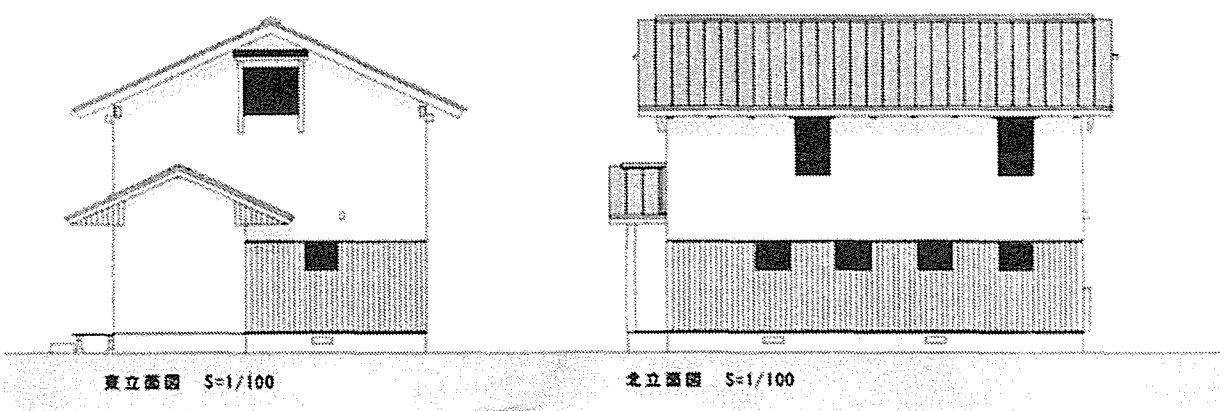
○各階平面図兼配置図



○西・南立面図



○東・北立面図



(3) 木材及び木造住宅に関する知識の啓発普及事業

① 木造住宅の普及啓発パンフレット等の作成

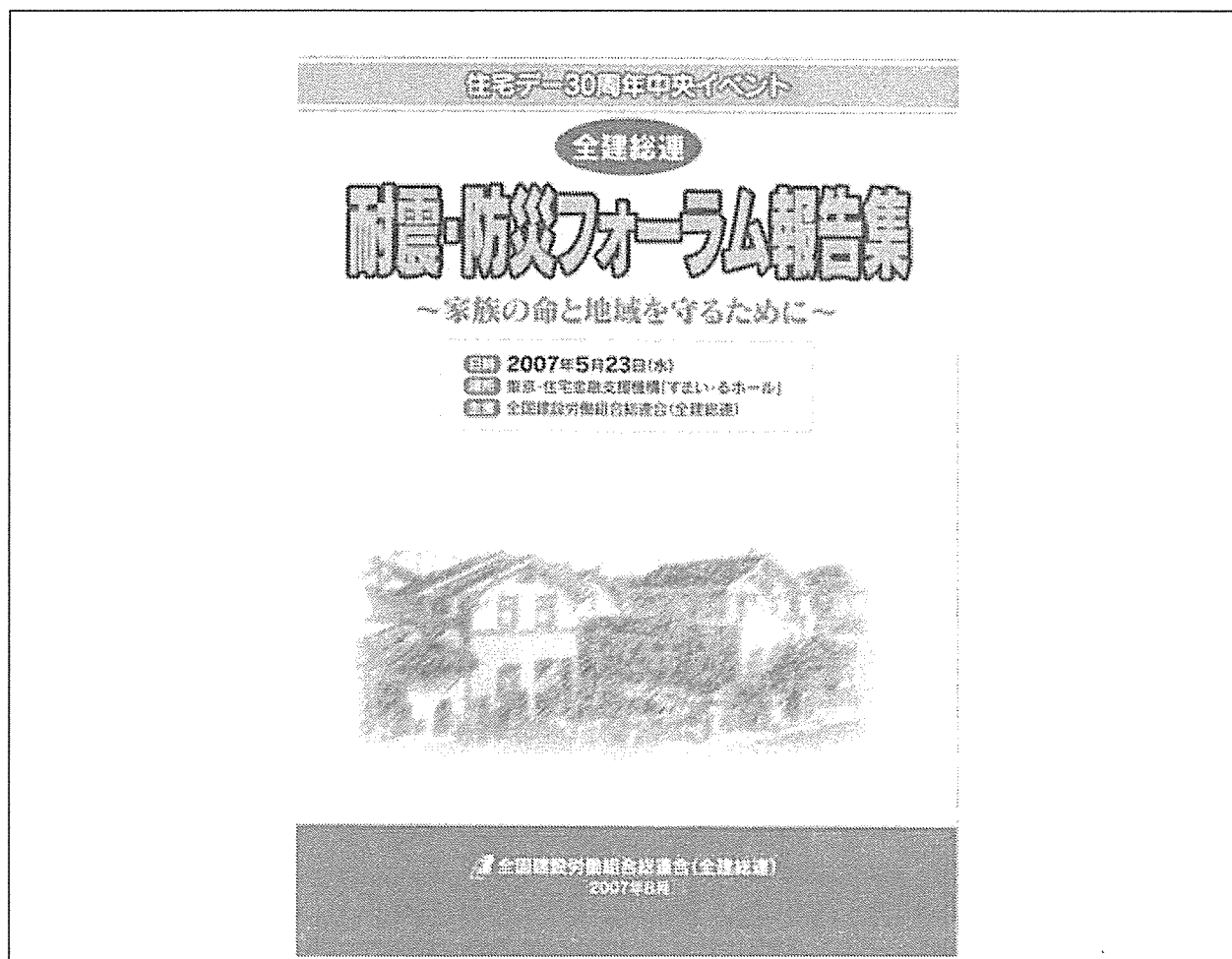
目的と概要

全建総連において、住宅デーの30周年を記念し開催した「耐震・防災フォーラム」の報告集を作成した。住情報の発信、消費者への情報提供の中で、住宅の耐震化・防災対策・防犯のリーフレット等を作成し、「住宅デー」や住宅月間等のイベントや住宅相談窓口等で消費者に配付した。2支部において、地域特性にあわせた木造住宅の知識の普及啓発を目的としたパンフレット等を発行した。

作成したもの

耐震・防災フォーラム報告集（部数1,000部）

日本は世界的にみても自然災害の被害を受けるリスクの高い国といわれている。大規模地震の要因ともいわれる岩盤プレートのひずみだけでなく、日本列島のいたるところに活断層が存在し、いつ、どこで大きな地震が発生してもおかしくない。全建総連は、建設・住宅産業に従事するものとしてのちと住まいを守り、地域の崩壊を防ぐための取り組みの一環として、フォーラムを開催。一般消費者も含め、191人が参加した取り組みの成果を全国に広げることを目的に報告集を作成した。



東京土建・あなたの家に火災警報器を（部数 20,000 枚）

「あなたの家に火災警報器はついていますか？」という市民向けパンフレットを作成し、住宅デーや地域イベントの際に配布した。相談があれば自宅に訪問し、火災警報器の取り付けボランティアを行い、地域との信頼関係も深め、同時に住宅相談をあれば対応した。

住宅用火災警報器 Q&A

Q 購入するにはどうすればいいですか？

A 警報器のメーカーは、東京都建設局が指定した製品にしてください。以下のメーカーが指定されています。各メーカーのホームページをご覧ください。

| | |
|---|--|
| 株式会社パナソニック 〒100-8555 東京都千代田区有明4-1-8 TEL: 03-6633-1111 URL: www.panasonic.co.jp | 株式会社ニチコン 〒100-8555 東京都千代田区有明4-1-8 TEL: 03-6633-1111 URL: www.nichicon.co.jp |
|---|--|

Q 消防署の人が電話で説明することはあるのですか？

A 消防署が説明することはありますが、警報器の取り付けは消防署ではありません。消防署のホームページやパンフレット、また、消防署の広報誌などで説明が受けられます。詳しくは、消防署にお問い合わせください。

Q 価格はいくらぐらいですか？

A 警報器の価格は、メーカーによって異なります。一般的な価格としては、1台あたり1,000円～2,000円程度です。ただし、取り付け費用は別途かかります。

Q 警報器が壊れたらどう対応すればいいですか？

A 警報器が壊れたら、メーカーのホームページやパンフレット、また、消防署のホームページなどで説明が受けられます。詳しくは、メーカーや消防署にお問い合わせください。

Q 警報器が作動する仕組みはどのようになっていますか？

A 警報器は、煙や熱を検知して作動します。煙検知型は、煙が検知されると作動します。熱検知型は、温度が上昇すると作動します。また、複合型もあります。



Q 警報器以外の火災対策の取組は？

A 火災対策には、警報器だけでなく、消火器の設置や、避難経路の確保、火災保険の加入なども重要です。また、定期的な点検やメンテナンスも必要です。

Q 警報器の設置場所はどこがいいですか？

A 警報器は、天井付近に設置するのが一般的です。ただし、浴室やキッチン、エアコンの吹き出し口付近には設置できません。詳しくは、メーカーのホームページやパンフレット、また、消防署のホームページなどで説明が受けられます。

あなたの家に住宅用火災警報器はついていますか？

東京都建設局が指定した製品にしてください。

みなさまのご協力をお願いします。

データで見る火災の現状

住宅火災が被害の中心です。

| | | |
|--|----------------|-------------|
| 消防出動件数 100,000件以上 うち住宅火災 約40,000件 | 被害総額 約100億円 | 死者 約100人 |
|--|----------------|-------------|

火災の多くは、キッチンやリビングで発生しています。

【原因】の調査も重要です。【原因】の調査も重要です。【原因】の調査も重要です。

東京土建 住まいの相談センター
東京都建設局

TEL: 03-6633-1111
URL: www.tokyo-kentoku.jp

住宅火災による被害を減らすために全国的な緊急対策が必要になりました

住宅用火災警報器は、火災や火の勢いを早期に検知して、住居内での被害や被害の拡大を防ぐために有効な対策の一つです。また、火災による被害の拡大を防ぐために有効な対策の一つです。



住宅用火災警報器を設置しましょう

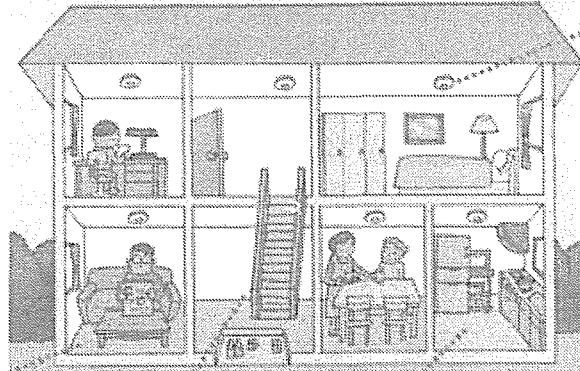
どのように設置すればいいのでしょうか

火災警報器にはどのようなタイプがあるの？
 設置と取付方法

煙検知型
 煙が検知されると作動します。

熱検知型
 温度が上昇すると作動します。

複合型
 煙と熱の両方を検知して作動します。



ES型（煙検知型）
 煙が検知されると作動します。

TS型（熱検知型）
 温度が上昇すると作動します。

ES+TS型（複合型）
 煙と熱の両方を検知して作動します。

設置場所
 天井付近に設置してください。

設置方法
 天井に穴を開け、警報器を固定してください。

点検
 定期的に点検を行い、正常に動作していることを確認してください。

火災警報器にはどのようなタイプがあるの？
 ES型（煙検知型）とTS型（熱検知型）があります。

ES型（煙検知型）
 煙が検知されると作動します。

TS型（熱検知型）
 温度が上昇すると作動します。

東京土建・直下型地震の教訓（部数 20,000 部）

兵庫県南部地震の死者・行方不明者は 6437 人にのぼり、死因 8 割以上が家屋の倒壊、家具の転倒によるものでした。新潟県中越地震、能登沖地震の大震災を教訓化し、地域での防災への取り組みや、震災が起きた場合の対応について周知することを目的に作成した。住宅デーをはじめとする諸行事の中で、広く配布し、相談があれば訪問し、簡易耐震診断などのボランティア・住宅改修の相談にのり、地域での信頼関係が深めることができた。

「直下型地震」の教訓

1995年1月17日午後5時46分、阪神・淡路大震災。マグニチュード7.3。死者・行方不明者6,437名。死者の8割以上が家屋の倒壊、家具の転倒によるものでした。

2004年10月23日、新潟県中越地震。死者・行方不明者1,000名。死者の8割以上が家屋の倒壊、家具の転倒によるものでした。

2007年3月25日、能登沖地震。死者・行方不明者1,000名。死者の8割以上が家屋の倒壊、家具の転倒によるものでした。

わたが家の防災メモ

あわてず落ち着いて！ 119 火事・救急です

居住者
 居住者
 居住者
 居住者

緊急連絡メモ

| 氏名 | 電話番号 | 住所 | 備考 |
|-------|---------------|----------------------|----|
| 近藤 隆 | 090-1234-5678 | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | |
| 田中 花子 | 090-8765-4321 | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | |
| 山田 太郎 | 090-1111-2222 | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | |
| 鈴木 一郎 | 090-3333-4444 | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | |

家族の連絡先

| 氏名 | 電話番号 | 住所 | 備考 |
|---------|---------------|----------------------|----|
| 父 田中 太郎 | 090-1234-5678 | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | |
| 母 田中 花子 | 090-8765-4321 | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | |
| 妻 山田 花子 | 090-1111-2222 | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | |
| 夫 鈴木 一郎 | 090-3333-4444 | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | |

忘れない！「直下型地震」の教訓

～阪神・淡路大震災と新潟県中越地震～

1995年1月17日午後5時46分、阪神・淡路大震災。マグニチュード7.3。死者・行方不明者6,437名。死者の8割以上が家屋の倒壊、家具の転倒によるものでした。

2004年10月23日、新潟県中越地震。死者・行方不明者1,000名。死者の8割以上が家屋の倒壊、家具の転倒によるものでした。

2007年3月25日、能登沖地震。死者・行方不明者1,000名。死者の8割以上が家屋の倒壊、家具の転倒によるものでした。

忘れてはならない！「直下型地震」の教訓。これら大震災の教訓を、片時も忘れることはできません。

知られる原因の徹底対策

大震災を教訓として、家屋の耐震性を高めるための対策を講ずることが重要です。特に、家具の転倒防止対策は、地震発生時に大きな被害をもたらす原因の一つです。家具の転倒防止対策には、家具の固定や、家具の転倒防止装置の設置などが有効です。

東京土建 住まいの相談センター
 無料の住宅診断サービス

阪神・淡路大震災を振り返る

新潟県中越地震

2つの大地震は、私たちに改めて地震の恐ろしさを痛感させ、防災対策の重要性を認識させました。

高い防災意識を持つために、いま一度振り返りましょう。

犠牲者の8割以上が家屋の倒壊、家具の転倒

阪神・淡路大震災の死者・行方不明者は、6,437人にのぼりました。そのうち、死者の8割以上が家屋の倒壊、家具の転倒によるものでした。

新潟県中越地震の死者・行方不明者は、1,000人にのぼりました。そのうち、死者の8割以上が家屋の倒壊、家具の転倒によるものでした。

能登沖地震の死者・行方不明者は、1,000人にのぼりました。そのうち、死者の8割以上が家屋の倒壊、家具の転倒によるものでした。

4,831人

1,000人

550人

多くの命を救った地域防災力

地震発生時、地域防災力が命を救うために重要な役割を果たします。

84% 地域防災力が命を救った

14% 地域防災力が命を救った

4% 地域防災力が命を救った

10% 地域防災力が命を救った

地域防災力の重要性を認識し、地域防災力を高めることが重要です。

誰かが月達めたライフライン

地震発生時、ライフラインが断絶すると、生活が支障をきたします。ライフラインの復旧を支援するために、地域防災力が重要です。

| 項目 | 内容 | 備考 |
|----|--------------|--------------|
| 電力 | 電力供給の復旧を支援する | 電力供給の復旧を支援する |
| 水道 | 水道供給の復旧を支援する | 水道供給の復旧を支援する |
| ガス | ガス供給の復旧を支援する | ガス供給の復旧を支援する |
| 通信 | 通信供給の復旧を支援する | 通信供給の復旧を支援する |

日本を築いた災害ボランティア

災害発生時、ボランティアの活動は、被災者の生活を支えるために重要な役割を果たします。

災害ボランティアの活動は、被災者の生活を支えるために重要な役割を果たします。

災害ボランティアの活動は、被災者の生活を支えるために重要な役割を果たします。

災害ボランティアの活動は、被災者の生活を支えるために重要な役割を果たします。

地域住民を対象に、無料住宅相談を開催し、冊子を作成することで、耐震診断・悪徳訪問販売業者対策等の相談・改善策を提案した。あわせて、住宅デー開催の趣旨を説明した。広く地域住民に配布し、耐震診断・リフォーム工事相談等の住宅相談に役立てられた。私たちの提案・アドバイスで悪徳訪問業者からの契約被害防止にも役立てることができたのではないかと。また、地域住民との信頼関係を深めることができ、今後の経営基盤の強化に役立てていきたい。

アチすま

第29回住宅デー
冊子工作教室

KINOSHITA JAPAN

千住のまちづくり

家具転倒防止金具
取付ボランティア

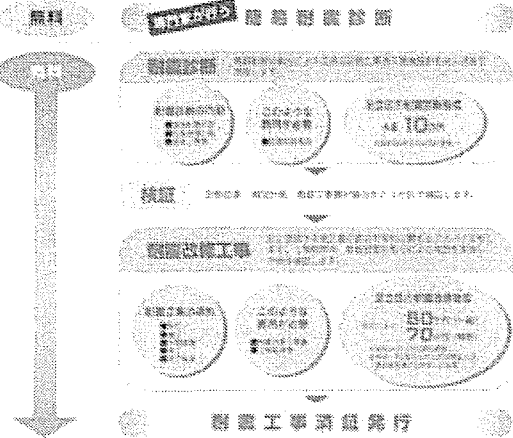
住宅デーを通じて、近世・教育行政機関と協力していきます。

住宅デーでは、全体的な社会福祉・教育行政等を行い、合併交流の力が集まりました。少後、地域の「福祉・教育行政」機関に、引き続き協力を進めてまいります。

申込・受付は、30回住宅デー実行会場にて受付です。また、住宅デー以外でも実施する予定です。

足立区の耐震診断・耐震改修工事助成制度を使った 耐震補強の流れ

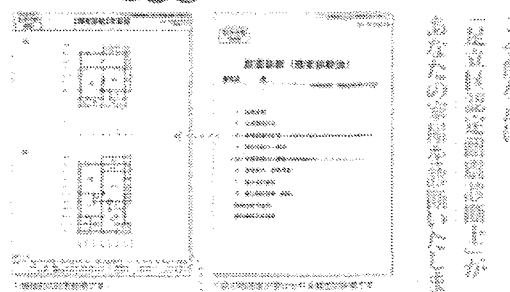
～安心して耐震診断・補強ができます～



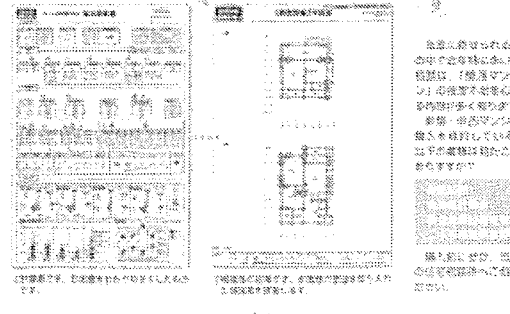
◎共同住宅の場合
 共同住宅の耐震診断・工事費補助金
 補助金1000万円
 補助金申請費用100万円

◎高齢者・身体障害者世帯対象の助成
 補助金100万円
 補助金申請費用100万円

お問い合わせ先
 足立区建設課 耐震診断・補強係
 〒112-8501 足立区千住5-1-1
 TEL: 03-5925-3111 FAX: 03-5925-3112



「足立区耐震診断補助金」が
 あなたの耐震補強を助けてくれます



耐震改修工事は、耐震診断の結果に基づいて、建物の構造を補強するための工事です。補助金申請は、耐震改修工事の費用の一部を補助してくれるので、負担が軽減されます。

ゆうゆう住宅 住宅性能保証制度 付帯保証

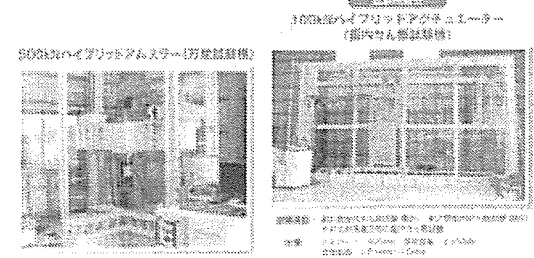
安心と信頼をサポートします

NPO法人の 事業所紹介 2

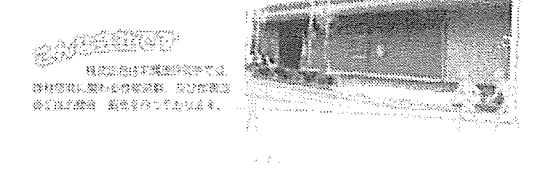
株式会社 住宅構造研究所

NPO法人の相談家は、足立区外の木造住宅耐震化促進に向け、(株)住宅構造研究所製品を優先し、積極的に採用しています。

また、住宅構造研究所無償の工法講習会及び技術者講習会場の提供等も行っています。NPO法人の相談家個人登録には、お名前登録費にて「耐震補強部材」を販売しています。



5000坪×2フロア×2.5mスロー(万建館館内)



5000坪×2フロア×2.5mスロー(万建館館外)

火災警報器設置義務化

平成22年4月1日からお住まいの住宅にも「火災警報器設置」が義務になります。

- 新築の住宅** 平成16年10月1日から設置が義務とされています。
- 既存住宅の住宅** 平成22年4月1日から設置が義務となります。



住宅用火災警報器とは

火災の発生をいち早く検知し、火災の発生を知らせる装置です。火災の発生をいち早く検知し、火災の発生を知らせる装置です。

なぜ設置するの？

火災の発生をいち早く検知し、火災の発生を知らせる装置です。火災の発生をいち早く検知し、火災の発生を知らせる装置です。

どこに設置するの？

居室、廊下、玄関、トイレ、洗面所、浴室、キッチン、リビング、ダイニング、ホール、玄関、廊下、トイレ、洗面所、浴室、キッチン、リビング、ダイニング、ホール、玄関、廊下、トイレ、洗面所、浴室、キッチン、リビング、ダイニング、ホール

購入するには

火災警報器は、火災の発生をいち早く検知し、火災の発生を知らせる装置です。火災の発生をいち早く検知し、火災の発生を知らせる装置です。

設置する位置は

居室、廊下、玄関、トイレ、洗面所、浴室、キッチン、リビング、ダイニング、ホール、玄関、廊下、トイレ、洗面所、浴室、キッチン、リビング、ダイニング、ホール



すまいの相談室に寄せられた 建売住宅に関する相談の1例が、



家づくりは、設計士・大工・建築士さんと相談・確認しながら、1から家を建てる事が重要!



「お話ししたい事があります」 家づくりには、設計士・大工・建築士さんと相談・確認しながら、1から家を建てる事が重要!

すまいは、一生の買物
住宅購入前に、私達にも声掛けしてください

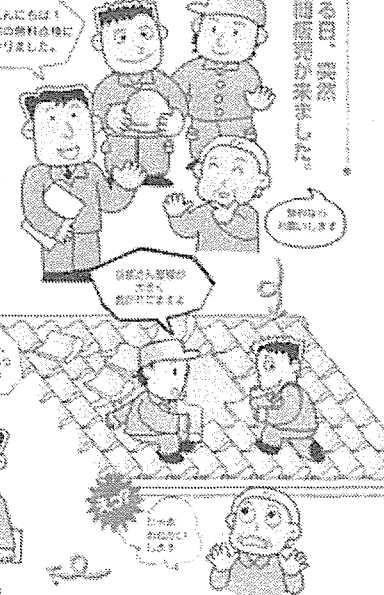


お話ししたい事があります
家づくりには、設計士・大工・建築士さんと相談・確認しながら、1から家を建てる事が重要!



悪質リフォーム

互害に寄せられた相談の1例です。



東京土建・住まいづくり（部数 2,000 部）

組合員が手がけた木造建築や模型を紹介し、木造住宅の良さ、普及啓蒙を目的に作成。西多摩地域で開催した住宅デー・木工教室で広く配布することで、木のぬくもりのやさしさ、造形の美しさといった木造建築の魅力を伝えることができた。

住まいづくり

2007・春
NO. 3

- 伝統工法を新しい時代に受け継いで 白山神社の修復
- 緑和風の庭土庭園の造園と手入れ
- 美しい木造大佛堂修築 新粒森村立派修築
- 伝統工法の継ぎ手・仕口の役割と模型製作



伝統工法の継ぎ手・仕口の役割

知られていない家を長持ちさせる役割





枯山水に映える植栽のみどり

緑和風の庭土庭園の造園と手入れ




受け継いで

白山神社の建替え新築




② 小中学生を対象とした木工教室

概要 小中学生を対象とした木工教室は、「住宅デー」の中で開催しているもの、小中学校で開催しているもの等があり、707ヶ所で開催した。

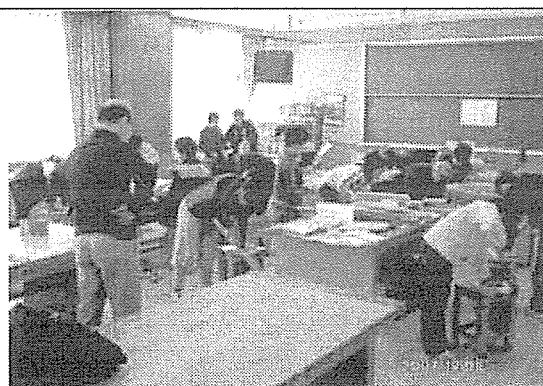
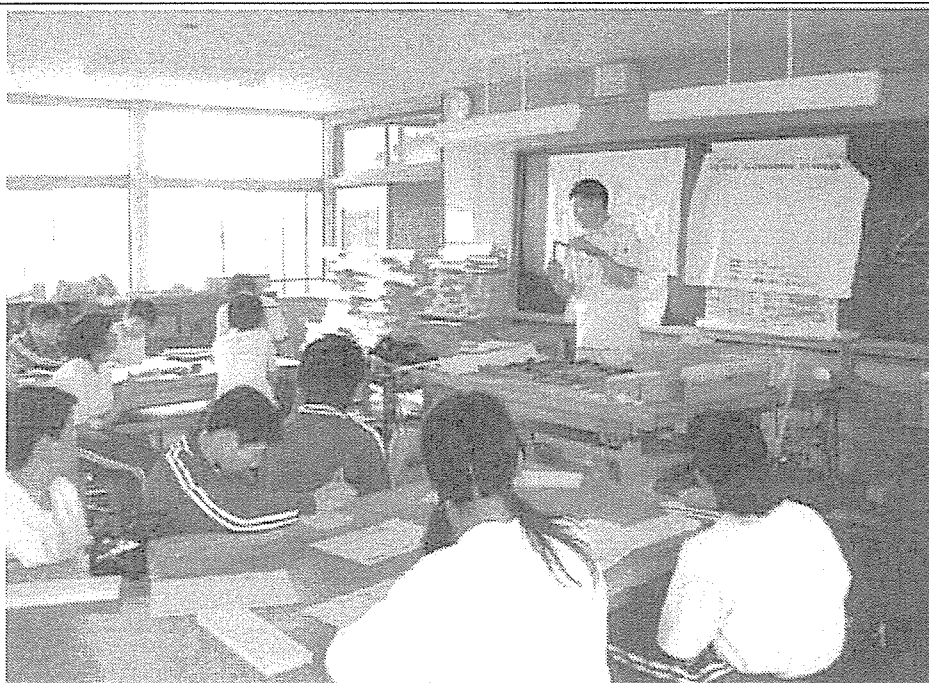
開催県支部

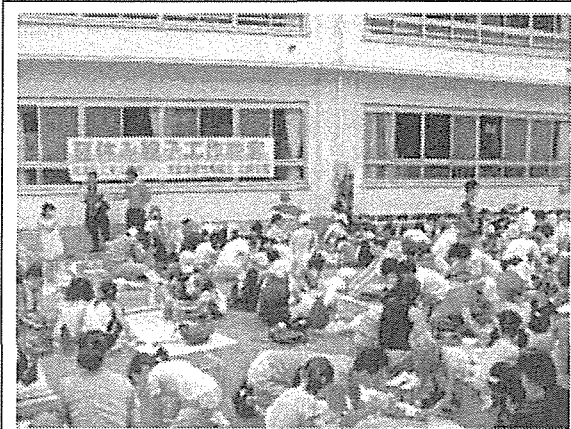
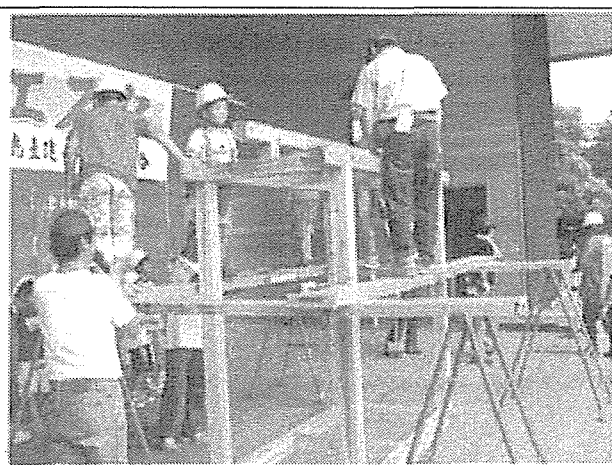
| | | | | |
|-------|------|------|------|------|
| 北海道連 | 宮城県連 | 山形県連 | 福島県連 | 栃木建労 |
| 群馬県連 | 建設埼玉 | 埼玉土建 | 千葉土建 | 東京都連 |
| 神奈川県連 | 山梨県連 | 富山県連 | 福井県連 | 長野県連 |
| 岐阜建労 | 静岡建労 | 全建愛知 | 三重建労 | 滋賀建築 |
| 兵庫県連 | 奈良建築 | 島根建連 | 建労岡山 | 建設山口 |
| 徳島建労 | 福岡建労 | 熊本建労 | 佐賀建連 | 大分建労 |

(開催日時、参加人数は次項)

得られた成果（効果）と成果の今後の活用

6万9381人の子どもに対して9402人の技能者が指導にあたり、木に触れ合うこと、技能に触れることの素晴らしさを伝えた。

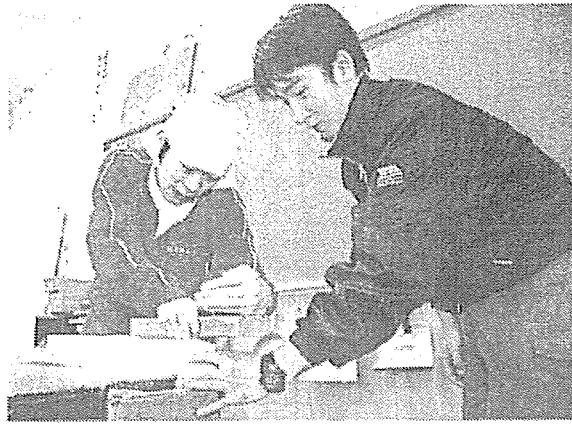




地元の職人から 木工技術を学ぶ

伊那の東部中生40人

伊那市の東部中学校二からのこぎりもかんなの
年三組の生徒四十人が二 使い方を教わった。生徒
十一日、技術科の授業で が木工の技術を学び、も
地元の大工や建具師四人 のつくりに興味を持てる



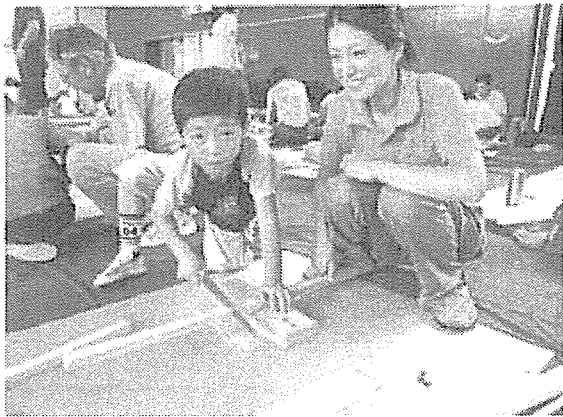
地元の大工から指導を受けてか
ながけをする東部中の生徒(左)

ようと、同校が上伊那
建設労働組合に依頼し
た。
生徒たちは、本立てを
作るために板をのこぎり
で切った。職人たちが手
本を見せ、「のこぎりは
真つすぐに」「手前に引
くときに力を入れて」な
どと個別に指導した。
また、生徒は角材のか
けに掛けにも挑戦。飯島

談話室

「外の人が南信州の明確なイメージを
持つよう、個性を確立したい」。1月
から飯田青年会議所(JC)の理事長を
務める。最重要課題は「地域力をつける
こと」。三遠南信道の一部開通を間近に
控え「飯田下伊那と連携すれば、どんな
メリットを提供できるのか、ほかの地域
にアピールすることが急務」と訴える。
JCに入って10年。その間に家業の茶
卸売業だけでなく、飲食業に進出した。
「寂しくなった市街地を何とかしたい」

飯



| 開催県 | 会場名(開催地域) | | 実施日 | 担当支部 | 児童 | 講師 |
|-----|------------------|------|-----------------|-------|-----|----|
| 北海道 | 札幌市立中の島中学校 | | 11月22日 | 北海道 | 130 | 15 |
| | 旭川市ダイイチショッピングプラザ | | 8月5日 | 北海道 | 30 | |
| 宮城県 | 仙台市市古図広場 | | 10月20,21日 | 宮城県 | 26 | 4 |
| | 仙台市県庁舎 | | 10月20,21日 | 宮城県 | 75 | 8 |
| 山形県 | 酒田市全農庄内 | | 10月28日 | 酒田飽海 | 60 | 4 |
| | 上山市南小 | | 7月2日 | 山形上山 | 62 | 11 |
| | 中山町立中山中 | | 6月14,15日 11月14日 | 山形中山 | 114 | 6 |
| 福島県 | 飯坂 | | 11月11日 | 福島飯坂 | 120 | 11 |
| | 郡山市総合学習センター | | 11月2~5日 | 富久山 | 150 | 18 |
| | 郡山総合体育館 | | 10月12~14日 | 郡山市 | 150 | 6 |
| | 富田公民館 | | 10月28日 | 郡山市 | 50 | 4 |
| | 須賀川アリーナ | | 10月27,28日 | 須賀川 | 165 | 24 |
| | 北泉シーサイドパーク | | 8月5日 | 原町 | 80 | 10 |
| | 南相馬市旭公園 | | 11月3日 | 原町 | 130 | 12 |
| | 田村市大越体育館 | | 10月21日 | 田村 | 38 | 4 |
| 栃木県 | 宇都宮市三楽園 | | 8月27日 | 栃木県 | 15 | 11 |
| 群馬県 | 太田市蕪川小学校 | | 11月22日 | 群馬県 | 20 | 5 |
| | 渋川市橘小学校 | | 12月19日 | 群馬県 | 19 | 6 |
| | 高崎市西小学校 | | 2月22日 | 群馬県 | 18 | 5 |
| | 前橋工業高校 | | 7月14日 | 群馬県 | 30 | 4 |
| 埼玉県 | 針ヶ谷コミュニティセンター他 | 5会場 | 8月5日 | ふじみ野 | 78 | 53 |
| | コピスみよし広場 | | 11月11日 | ふじみ野 | 236 | 11 |
| | 戸田競艇場 | | 8月19日 | 戸田 | 80 | 19 |
| | 草加市青柳 | | 9月11~13日 | 草加 | 4 | 1 |
| | 草加市新栄 | | 9月11~13日 | 草加 | 2 | 1 |
| | 草加市松江 | | 10月20,21日 | 草加 | 200 | 32 |
| | 吉川市おあしす広場 | | 7月29日 | 吉川松伏 | 110 | 15 |
| | さいたま市内 | 23会場 | 6月10日 | さいたま南 | 209 | 22 |
| | 東浦和中央公園 | | 9月30日 | さいたま南 | 82 | 6 |
| | 所沢市立北小 | | 12月2日 | 所沢地区 | 19 | 6 |
| | 所沢航空公園 | | 10月28日 | 所沢地区 | 84 | 8 |
| | 所沢中学校 | | 7月10,11日 | 所沢 | 105 | 17 |
| | 所沢中学校 | | 1月24,25日 | 所沢 | 136 | 21 |
| | 別所沼公園 | | 8月26日 | 浦和地区 | 34 | 10 |
| | 岩槻城址公園 | | 11月11日 | 岩槻地区 | 21 | 6 |
| | くまがやコミュニティ広場 | | 11月11日 | 熊谷地区 | 32 | |
| | Lフォルテ | | 8月19日 | 深谷地区 | 34 | 5 |
| | 羽生市キャセ羽生 | | 8月5日 | 北埼玉地区 | 106 | 38 |
| | 春日部市健康広場 | | 10月28日 | 埼玉葛地区 | 25 | 2 |
| | さいたま市中央区役所 | | 11月11日 | 与野地区 | 10 | 2 |

| 開催県 | 会場名(開催地域) | | 実施日 | 担当支部 | 児童 | 講師 | |
|-----------------|------------|-----------|--------------|---------|------|-----|----|
| 埼玉県 | 越谷市総合体育館 | | 12月2日 | 東部地区 | 116 | 10 | |
| | 戸田市競艇場 | | 8月19日 | 戸田地区支部 | 33 | 5 | |
| | 本庄市中央公民館 | | 8月19日 | 本庄地区支部 | 13 | 3 | |
| | 鳩ヶ谷駅東口広場 | | 9月15日,16日 | 鳩ヶ谷地区 | 145 | 7 | |
| | 古河市ネーブルパーク | | 9月16日 | 猿島 | 38 | 6 | |
| | 新座市石神小学校 | | 8月16日 | 新座 | 50 | 17 | |
| | 坂戸中学校 | | 11月13日 12月5日 | 坂戸 | 200 | 14 | |
| | 加須市水深 | | 11月25日 | 加須 | 200 | 25 | |
| | 戸田市こどもの国 | | 5月5日 | 蕨戸田地区支部 | 93 | 5 | |
| | 鴻巣市中央公民館 | | 8月12日 | 北足立地区支部 | 25 | 7 | |
| | 田間宮公民館 | | 8月5日 | 北足立地区支部 | 20 | 4 | |
| | あたご公民館 | | 7月29日 | 北足立地区支部 | 25 | 7 | |
| | 笠原公民館 | | 7月29日 | 北足立地区支部 | 25 | 8 | |
| | 箕田公民館 | | 7月29日 | 北足立地区支部 | 20 | 9 | |
| | 常光公民館 | | 7月28日 | 北足立地区支部 | 15 | 7 | |
| | 鶴ヶ島市役所 | | 11月11日 | 西部地区 | 40 | 5 | |
| | 埼玉県ものづくり大学 | | 11月3~4日 | 埼玉県 | 368 | 90 | |
| | 千葉県 | 流山市東葛病院 | | 10月21日 | 流山 | 200 | 30 |
| | | 流山市美原1号公園 | | 7月29日 | 流山 | 11 | 6 |
| 流山市平和台2号公園 | | | 7月29日 | 流山 | 9 | 3 | |
| 流山市松ヶ丘ふるさと公園 | | | 7月29日 | 流山 | 5 | 3 | |
| 流山市南流山6号公園 | | | 7月29日 | 流山 | 82 | 16 | |
| 我孫子市手賀沼公園 | | | 7月29日 | 我孫子 | 40 | 5 | |
| 我孫子市東集会所 | | | 7月29日 | 我孫子 | 20 | 5 | |
| 我孫子市高野山小グランド | | | 7月29日 | 我孫子 | 50 | 6 | |
| 新松戸中央公園 | | 3会場 | 11月4日 | 松戸 | 1200 | 7 | |
| 市川市百合丘公園 | | 4会場 | 7月29日 | 市川 | 40 | 16 | |
| 市川市じゅん菜池公園 | | | 10月21日 | 市川 | 7 | 4 | |
| 市川市大洲防災公園 | | | 11月3日 | 市川 | 39 | 5 | |
| 八幡小学校 | | | 11月17日 | 市川 | 28 | 3 | |
| 船橋市前貝塚しらさぎ公園 | | | 7月29日 | 船橋 | 200 | 12 | |
| 薬円台小学校 | | | 10月7日 | 船橋 | 300 | 20 | |
| 習志野市 | | | 8月26日 | 習志野 | 2 | 3 | |
| 市原市若葉小学校 | | 6会場 | 7月29日 | 市原 | 61 | 12 | |
| 佐原市多古町コミュニティプラザ | | | 7月29日 | 佐原 | 7 | 2 | |
| 大原漁港荷さばき場 | | | 10月21日 | 夷隅 | 35 | 9 | |
| 勝浦市夢テラス前 | | | 11月3日 | 夷隅 | 40 | 7 | |
| 横芝光町文化会館 | | 2会場 | 7月29日 | 山武 | 73 | 11 | |
| 山武市役所 | | | 10月28日 | 山武 | 200 | | |
| 九十九里町中央公民館 | | | 11月3日 | 山武 | 3 | 3 | |

| 開催県 | 会場名(開催地域) | | 実施日 | 担当支部 | 児童 | 講師 |
|-------------|----------------|-------|----------------|------|-------|------|
| 千葉県 | 柏市常磐台公園 | | 8月19日 | 柏 | 36 | 20 |
| 東京都 | 都立木場公園 | | 10月6,7日 | 東京都 | 150 | 25 |
| | 足立区元淵江公園 | | 10月14日 | 城北 | 100 | 10 |
| | 渋谷区氷川公園 | | 6月3日 | 渋谷 | 70 | |
| | 目黒区碑小学校 | | 8月3日 | 目黒 | 80 | 26 |
| | 目黒区鷹番小学校 | | 8月23日 | | | |
| | 目黒区駒繫小学校 | | 8月27日 | | | |
| | 世田谷区烏山区民センター | | 10月14日 | 世田谷 | 24 | 5 |
| | 調布市富士見地区福祉センター | | 6月16日 | 調布 | 8 | 4 |
| | 調布市柏野小学校 | | 10月20日 | 調布 | 900 | 10 |
| | 国分寺商工会館 | | 8月25日 | 国分寺 | 25 | 9 |
| | 東久留米市役所 | | 6月10日 | 多摩北 | 65 | 8 |
| | 東大和市立第8小学校 | | 10月20日 | 多摩中央 | 300 | 7 |
| | 相模原市共和小学校 | | 12月2日 | 多摩 | 70 | 17 |
| | 足立区内 | 34会場 | 6月17、24日 | 足立 | 10658 | 1659 |
| | 荒川公園 | | 11月25日 | 荒川 | 120 | 15 |
| | 荒川区内 | 9会場 | 6月24日 | 荒川 | 183 | 45 |
| | 台東区内 | 8会場 | 6月24日 | 台東 | 50 | 10 |
| | 墨田区内 | 13会場 | 6月24日 | 墨田 | 300 | 26 |
| | 墨田区東駒形コミュニティ会館 | | 7月14日 | 墨田 | 300 | 26 |
| | 墨田区社会福祉会館 | | 8月25日 | 墨田 | 400 | 6 |
| | 錦糸公園 | | 9月24日 | 墨田 | 300 | 30 |
| | 錦糸公園 | | 10月7日 | 墨田 | 40 | 40 |
| | 葛飾区上小松小学校他 | 2校 | 8月26日 | 葛飾 | 180 | 38 |
| | 葛飾区奥戸南児童館他 | 15会場 | 5月27日～8月26日 | 葛飾 | 1294 | 271 |
| | 葛飾区内 | 41会場 | 6月24日 | 葛飾 | 350 | 100 |
| | 江戸川区内 | 34会場 | 4月29～11月18日 | 江戸川 | 3400 | 680 |
| | 板橋区小豆沢病院 | | 5月27日 | 板橋 | 30 | 4 |
| | 北区中央公園文化センター | | 7月28,29日8月4,5日 | 北 | 80 | 42 |
| | 練馬区 | 26会場 | 6月24日,11月18日 | 練馬 | 1000 | 150 |
| | 伊豆大島夏祭り会場 | | 8月11日 | 港 | 40 | 11 |
| 目黒区内 | 14会場 | 7月1日 | 目黒 | 337 | 24 | |
| 中野区内 | 11会場 | 6月24日 | 中野 | 600 | 60 | |
| 小平市中央体育館 | | 5月13日 | 小平 | 70 | 5 | |
| 小平第14小学校 | | 7月21日 | 小平 | 60 | 6 | |
| 小平市福祉会館市民広場 | | 9月8日 | 小平 | 30 | 3 | |
| 西東京市本町小学校 | | 8月26日 | 西東京 | 23 | 9 | |
| 西東京市民会館 | | 1月27日 | 西東京 | 110 | 16 | |
| 田無庁舎前広場 | | 10月7日 | 西東京 | 50 | 16 | |

| 開催県 | 会場名(開催地域) | | 実施日 | 担当支部 | 児童 | 講師 |
|--------------|-------------|-------------|--------------|--------|------|------|
| 東京都 | 東大和市第1小学校 | | 7月22日 | 村山大和 | 112 | 35 |
| | 武蔵村山市立第7小学校 | | 7月22日 | 村山大和 | 87 | 33 |
| | 豊島総合運動場 | | 11月23日 | 豊島 | 250 | 30 |
| | 文京区大塚公園 | | 10月21日 | 文京 | 50 | 15 |
| | 江戸川橋地蔵通商店街 | | 7月29日 10月21日 | 文京 | 200 | 25 |
| | 文京区小日向台幼稚園 | | 10月28日 | 文京 | 400 | 20 |
| 神奈川県 | 相模原市立共和小学校 | | 12月2日 | 相模原支部 | 70 | 17 |
| | 港北区角屋商事朝市 | | 6月3日 | 港北 | 30 | 6 |
| | 青葉区桜台公園 | | 6月10日 | 青葉 | 10 | 8 |
| | 横浜公園 | | 9月30日 | 横浜 | 30 | 5 |
| | センター南駅前広場 | | 11月3日 | 都筑 | 180 | 5 |
| | 青葉区役所 | | 11月3日 | 横浜 | 170 | 6 |
| | 港北区師岡町内会館 | | 6月24日 8月19日 | 港北 | 26 | 17 |
| | 相模原市 | | 6月24日 | 相模中央 | 41 | 9 |
| | 厚木市睦合南公民館 | | 6月24日 | 厚木 | 10 | 15 |
| | 厚木市中央公園 | | 10月26日 | 厚木 | 70 | 15 |
| | 川井小学校 | | 9月15日 | 旭瀬谷 | 58 | 10 |
| | 能見台小学校 | | 8月25日 | 磯子 | 20 | 5 |
| | 上中里地区センター | | 8月5日 | 磯子 | 15 | 6 |
| | 横浜山下田小学校 | | 8月26日 | 港北 | 198 | 46 |
| | 横浜市矢上小学校 | | 10月27日 | 港北 | | |
| | 横浜市北綱島小学校 | | 11月19日 | 港北 | | |
| | 中原区下河原小学校 | | 7月29日 | 東部川崎 | 56 | 9 |
| | 高津区久末小学校 | | 7月29日 | 東部川崎 | 130 | 14 |
| | 鶴見区末吉地区センター | | 8月25日 | 鶴見 | 33 | 7 |
| | 綾瀬市文化会館 | | 8月25日 | 綾瀬 | 69 | 26 |
| | 横浜市金沢小学校 | | 8月25日 | 金沢 | 49 | 18 |
| | 上溝中学校 | | 10月14日 | 相模原 | 20 | 8 |
| | 新宿小学校 | | 7月14日 | 相模原 | 43 | 12 |
| | 相模原市旭小学校 | | 10月28日 | 神奈川相模原 | 123 | 11 |
| | 桜台小学校 | | 7月24日 | 相模大野 | 50 | 8 |
| | 三浦藤沢信金浦賀支店 | | 6月24日 | 浦賀 | 54 | 4 |
| | 引地台公園 | | 5月13日 | 大和支部 | 200 | |
| | 川崎市内29小学校 | 29校 | 7月8日~8月26日 | 川崎 | 3497 | 1453 |
| | 横浜市元石川小学校他 | 38校 | 7月8日~11月23日 | 神奈川横浜 | 5220 | 1511 |
| | 川崎市宮内小学校他 | 26校 | 7月8日~11月23日 | 神奈川川崎 | 6906 | |
| | 横須賀市大楠小学校他 | 10校 | 7月8日~11月23日 | 神奈川横須賀 | 1316 | |
| | 三浦市上宮田小学校 | | 10月14日 | 神奈川三浦 | 80 | |
| 藤沢市湘南台小学校他 | 3校 | 7月22日 8月26日 | 神奈川藤沢 | 568 | | |
| 藤沢市善行市民センター他 | 6校 | 7月29日~8月26日 | 神奈川藤沢 | 355 | | |
| 綾瀬市落合小学校他 | 3校 | 7月29日 | 神奈川綾瀬 | 548 | | |

| 開催県 | 会場名(開催地域) | | 実施日 | 担当支部 | 児童 | 講師 | |
|----------|-------------|---------------|--------------|--------|------|------|----|
| 神奈川県 | 大和市文ヶ岡小学校他 | 5校 | 8月5日～8月26日 | 神奈川大和 | 416 | | |
| | 厚木市小鮎小学校他 | 6校 | 7月22日～8月26日 | 神奈川厚木 | 648 | | |
| | 相模原市旭小学校他 | 8校 | 7月1日～11月19日 | 神奈川相模原 | 1715 | | |
| | 小田原市山王小学校他 | 2校 | 8月19日 | 神奈川小田原 | 191 | | |
| | 大井町中央公民館他 | 2会場 | 8月5日,12日 | 神奈川小田原 | 179 | | |
| | 湯河原町湯河原小学校 | | 8月26日 | 神奈川小田原 | 153 | | |
| | 南足柄市岡本小学校 | | 7月29日 | 神奈川小田原 | 173 | | |
| | 平塚市みずほ小学校他 | 4校 | 7月21日～26日 | 神奈川平塚 | 288 | | |
| | 平塚市旭南公民館他 | 2会場 | 8月5,12日 | 神奈川平塚 | 104 | | |
| | 伊勢原市比々多小学校 | | 7月29日 | 神奈川伊勢原 | 164 | | |
| | 秦野市末広小学校他 | 3校 | 7月25日～8月5日 | 神奈川秦野 | 329 | | |
| | 秦野市ほりかわ幼稚園 | | 8月5日 | 神奈川秦野 | 101 | | |
| | 座間市立野台小学校他 | 4校 | 7月8日～11月25日 | 神奈川座間 | 712 | | |
| | 鎌倉市植木小学校 | | 8月26日 | 神奈川鎌倉 | 75 | | |
| | 深沢行政センター | | 10月14日 | 神奈川鎌倉 | 52 | | |
| | 山梨県 | 甲州市民文化会館 | | 8月18日 | 甲州 | 117 | 25 |
| | | シルクショッピングセンター | | 10月21日 | 山梨県 | 3000 | 10 |
| 富山県 | 富山県内 | 12会場 | 8月27日 | 富山県 | 200 | 150 | |
| 福井県 | 福井市 | | 8月26日 | 福井支部 | 29 | 17 | |
| 長野県 | 豊丘村豊丘中学校 | 5クラス | 6月19,26日 | 長野県 | 73 | 46 | |
| | 飯田市上村中学校 | | 7月5日 | 長野県 | 5 | 3 | |
| | 飯田市鼎中学校 | 4クラス | 7月6日 | | 137 | 80 | |
| | 飯田市竜峡中学校 | 2クラス | 7月9日 | | 60 | 20 | |
| | 飯田市緑ヶ丘中学校 | 3クラス | 7月9日 | | 96 | 54 | |
| | 飯田市旭ヶ丘中学校 | 2クラス | 7月10日 | | 41 | 24 | |
| | 飯田市飯田西中学校 | 2クラス | 7月13日 | | 38 | 16 | |
| | 飯田市竜頭中学校 | 2クラス | 7月13日 | | 29 | 12 | |
| | 飯田市高陵中学校 | | 7月17日 | | 22 | 9 | |
| | 飯田市飯田東中学校 | | 9月14日 | | 35 | 10 | |
| | 松川町松川中学校 | 4クラス | 10月2日 | | 152 | 52 | |
| | 飯田市遠山中学校 | | 10月3日 | | 9 | 4 | |
| | 中川村中川中学校 | 2クラス | 6月29日 8月24日 | | 88 | 10 | |
| | 宮田村宮田中学校 | 3クラス | 12月14,19,21日 | | 108 | 24 | |
| | 箕輪町箕輪中学校 | 12クラス | 1月15～28日 | | 452 | 55 | |
| | 伊那市東部中学校 | 7クラス | 1月22～30日 | | 280 | 35 | |
| | 塩尻市丘中学校 | 6クラス | 6月13～22日 | | 218 | 26 | |
| | 松本市源池小学校 | 3～6年 | 6月19日 | | 22 | 3 | |
| | 須坂市豊丘小学校 | 1～6年 | 6月16日 | | 15 | 4 | |
| | 小布施町教育委員会教室 | | 7月21日 | | 37 | 7 | |
| 須坂市森上中学校 | | 10月20日 | | 29 | 4 | | |

| 開催県 | 会場名(開催地域) | | 実施日 | 担当支部 | 児童 | 講師 |
|------------|--------------|---------------|---------------|-----------|-----|-----|
| 長野県 | 小海町小海中学校 | 3クラス | 5月30,31日 6月4日 | | 65 | 21 |
| | 佐久穂町佐久中学校 | 3クラス | 9月3,5,6日 | | 95 | 24 |
| | 岡谷市南宮 | | 8月26日 | 岡谷 | 91 | 10 |
| | 豊丘中学校 | | 9月13日 | 下伊那 | | 6 |
| | 松本市あがたの森 | | 10月13,14日 | 松本 | 88 | 17 |
| 静岡県 | 静岡市青葉シボルロード | | 8月5日 | 静岡県 | 129 | 18 |
| 愛知県 | 名古屋市中小企業振興会館 | | 11月17,18日 | 愛知県 | 200 | 9 |
| | 春日井市落合公園 | | 5月13日 | 春日井 | 500 | 21 |
| | 一宮ターパーク | | 5月3~5日 | 一宮 | 500 | 36 |
| | 江南市すいとびあ江南 | | 5月27日 | 尾北 | 200 | 14 |
| | 千石小学校 | | 7月7日 | 千種 | 80 | 7 |
| | とだがわこどもランド | | 8月14,15日 | 港 | 78 | 10 |
| | 清須市名西住建 | | 9月9日 | 西 | 188 | 10 |
| | 押切公園 | | 9月30日 | 西 | 100 | 13 |
| | 三菱電機グランド | | 10月7日 | 守山 | 100 | 17 |
| | 天白公園 | | 10月28日 | 天白 | 250 | 17 |
| | 大野極楽寺公園 | | 11月3,4日 | 一宮 | 220 | 16 |
| | 大高緑地公園 | | 10月20日 | 緑 | 150 | 16 |
| | 中村公園 | | 10月27日 | 中村 | 350 | 11 |
| | 弥富市文化公園 | | 10月8日 | 海部津島 | 150 | 16 |
| | 中川区富田支所 | | 10月21日 | 中川熱田 | 20 | 11 |
| | 熱田生涯学習センター | | 11月11日 | 中川熱田 | 20 | 10 |
| | 岡崎公園 | | 11月3,4日 | 岡崎 | 180 | 15 |
| | 美和町役場 | | 11月3日 | 海部津島 | 180 | 20 |
| | 津島市蛭間小学校 | | 6月19日 | 海部津島 | 45 | 5 |
| | 三重県 | 亀山市総合保健福祉センター | | 6月3日 | 亀山 | 50 |
| 上野銀座通り | | | 8月18日 | 上野 | 100 | 17 |
| 伊賀市桐ヶ丘団地 | | | 10月7日 | 名張 | 100 | 34 |
| 伊勢市厚生小学校 | | | 7月22日 | 伊勢 | 110 | 24 |
| 伊勢市一之木 | | | 6月24日 | 伊勢 | 100 | 10 |
| 三重県営サンアリーナ | | | 10月21日 | 伊勢 | 130 | 18 |
| 東長島公民館 | | | 5月13日 | 尾鷲 | 14 | 5 |
| 海山住宅資材倉庫 | | | 5月20日 | 尾鷲 | 17 | 6 |
| 尾鷲市 | | | 5月27日 | 尾鷲 | 19 | 6 |
| 尾鷲市中央公民館 | | | 6月23日 | 尾鷲 | 19 | 6 |
| 海山中央公民館 | | | 12月2日 | 尾鷲 | 53 | 13 |
| 鈴鹿市一宮小学校 | | 3クラス | 6月12日 | 鈴鹿 | 99 | 5 |
| 鈴鹿市弁天山公園 | | | 10月13日 | 鈴鹿 | 50 | 4 |
| 滋賀県 | | 県立草津高等技術専門校 | | 10月20,21日 | 滋賀県 | 114 |

| 開催県 | 会場名(開催地域) | | 実施日 | 担当支部 | 児童 | 講師 |
|----------|-------------|--------|--------------|-----------|-----|----|
| 兵庫県 | 郷の音ホール他 | 4会場 | 4月29~8月5日 | 阪神三田 | 434 | 26 |
| | 芦屋呉川公園他 | 3会場 | 5月27,7月8,29日 | 阪神芦屋 | 91 | 22 |
| | 甲子園口商店街他 | 8会場 | 7月1日~11月4日 | 阪神西宮 | 482 | 70 |
| | 有岡城跡公園他 | 2会場 | 7月22日9月6日 | 阪神伊丹 | 57 | 10 |
| | 阪神尼崎駅前他 | 4会場 | 8月26~11月3日 | 阪神尼崎 | 200 | 27 |
| | 尼崎市大成中学校 | | 7月29日 | 阪神尼崎 | 40 | 7 |
| | 武庫川河川敷 | | 9月2日 | 阪神 | 44 | 8 |
| | 鶯ガ丘会館 | | 9月23日 | 阪神川西 | 43 | 6 |
| | 水道筋商店街 | | 10月28日 | 神戸西灘 | 30 | 2 |
| | 都賀川児童公園 | | 8月26日 | 神戸南 | 78 | 3 |
| | 神戸楠丘公園 | | 6月24日 | 神戸 | 17 | 2 |
| | 神崎町もちむぎのやかた | | 10月26,27日 | 神崎 | 12 | 3 |
| | 相生市らかんの里 | | 8月5日 | 相生 | 45 | 3 |
| | 西脇市総合市民センター | | 8月12日 | 西脇 | 38 | 5 |
| | 多可郡加美運動公園 | | 11月11日 | 西脇 | 44 | 5 |
| | 長田区ジョイプラザ | | 6月10日 | 長田 | 30 | 6 |
| | 灘区王子陸上競技場 | | 5月19日 | 灘 | 35 | 6 |
| | 奈良県 | 橿原神宮公苑 | | 10月13,14日 | 奈良県 | 86 |
| 宇陀市総合体育館 | | | 7月22日 | 榛原 | 50 | 6 |
| 島根県 | 松江市くにびきメッセ | | 9月30日 | 島根県 | 57 | 5 |
| | 安来市伯太中学校 | | 11月8日 | 安来 | 46 | 10 |
| | 浜田市役所市民広場 | | 6月24日 | 浜田 | 26 | 7 |
| 山口県 | 宇部新川まつり会場 | | 5月5日 | 宇部支部 | 100 | 7 |
| | 山陽小野田市民祭り会場 | | 10月28日 | 小野田 | 150 | 13 |
| | 嘉川文化祭会場 | | 11月3日 | 吉南 | 70 | 8 |
| | あいお祭り会場 | | 11月4日 | 吉南 | 180 | 7 |
| | 下松市商工まつり | | 10月14,15日 | 下松 | 100 | 15 |
| | 光まつり会場 | | 9月30日 | 光 | 100 | 24 |
| | 徳山のんた祭り会場 | | 10月28日 | 周南 | 100 | 17 |
| | やないまつり会場 | | 11月23日 | 柳井 | 100 | 9 |
| | ながとふるさと祭り会場 | | 10月28日 | 長門 | 250 | 14 |
| 徳島県 | 石井町浦庄小学校 | | 8月5日 | 徳島県 | 44 | 8 |
| | 北島町役場他 | 2会場 | 8月26日 | 徳島県 | 58 | 22 |
| 福岡県 | 久留米市立鳥飼小学校 | | 6月25日 | 福岡支部 | 230 | 30 |
| 佐賀県 | 四季のめぐみ館 | | 8月19,20日 | 佐賀県 | 24 | 9 |
| | 唐津東中学校 | | 9月13日 | 唐津 | 40 | 10 |
| 大分県 | 明治明野公民館 | | 10月21日 | 大分県 | 80 | 8 |

③ 木造住宅の普及のための模型等の試作・展示

概要 伝統的な軸組構法の良さや木造住宅の良さが目に見える模型等を作成又は購入、「住宅デー」や住情報提供の場で展示を行った。

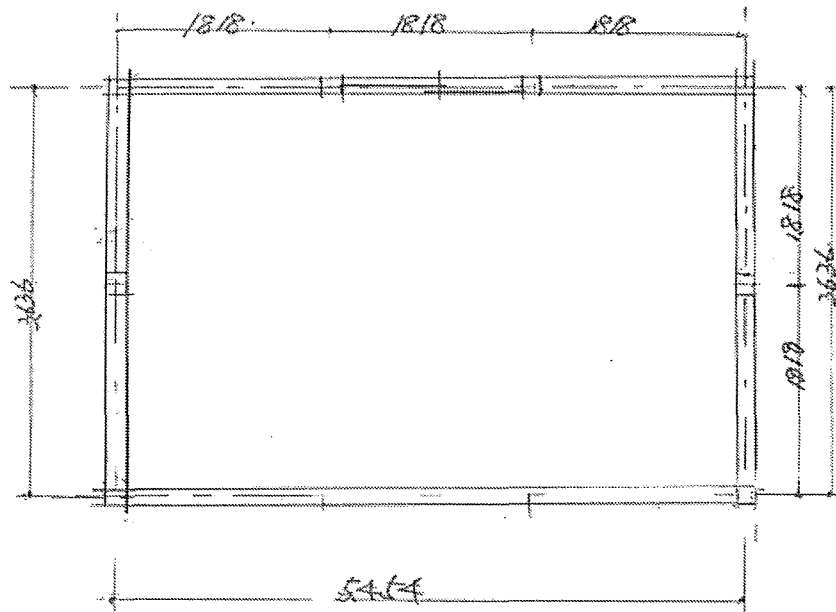
実施支部 山形県連、埼玉土建（2支部）、東京都連（6支部）、山梨県連（2支部）、福井県連、兵庫県連、奈良建築、建設山口

得られた成果（効果）と成果の今後の活用

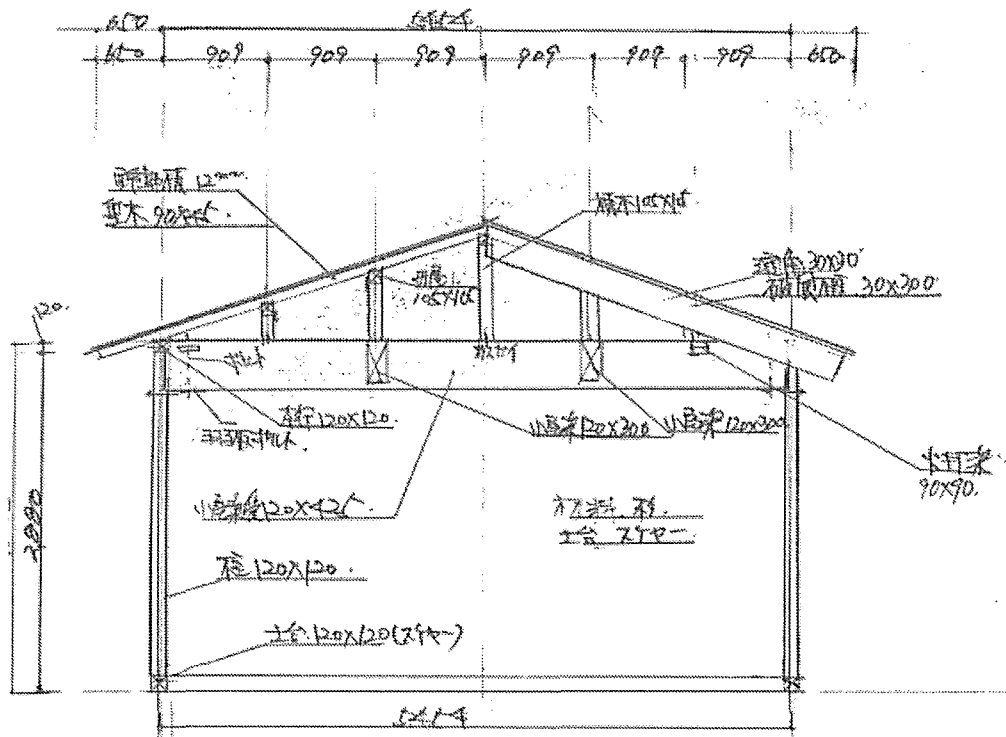
木造軸組住宅の良さ、国産材の良さ、地震に強い木構造、伝統的構法や継手・仕口等の展示により、消費者に木造住宅をアピールできた。継続的に展示することで、木とのふれ合いをよりアピールしていきたい。



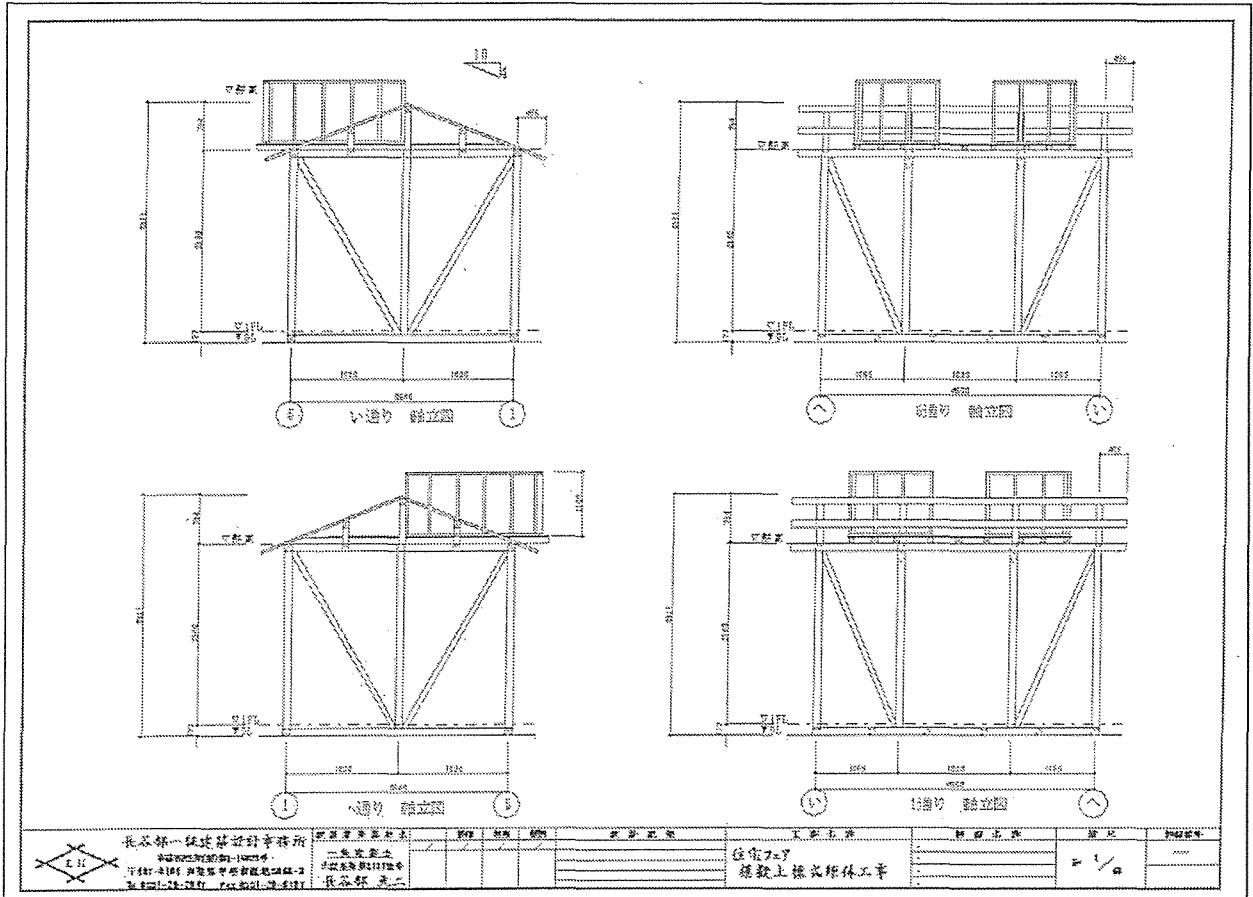




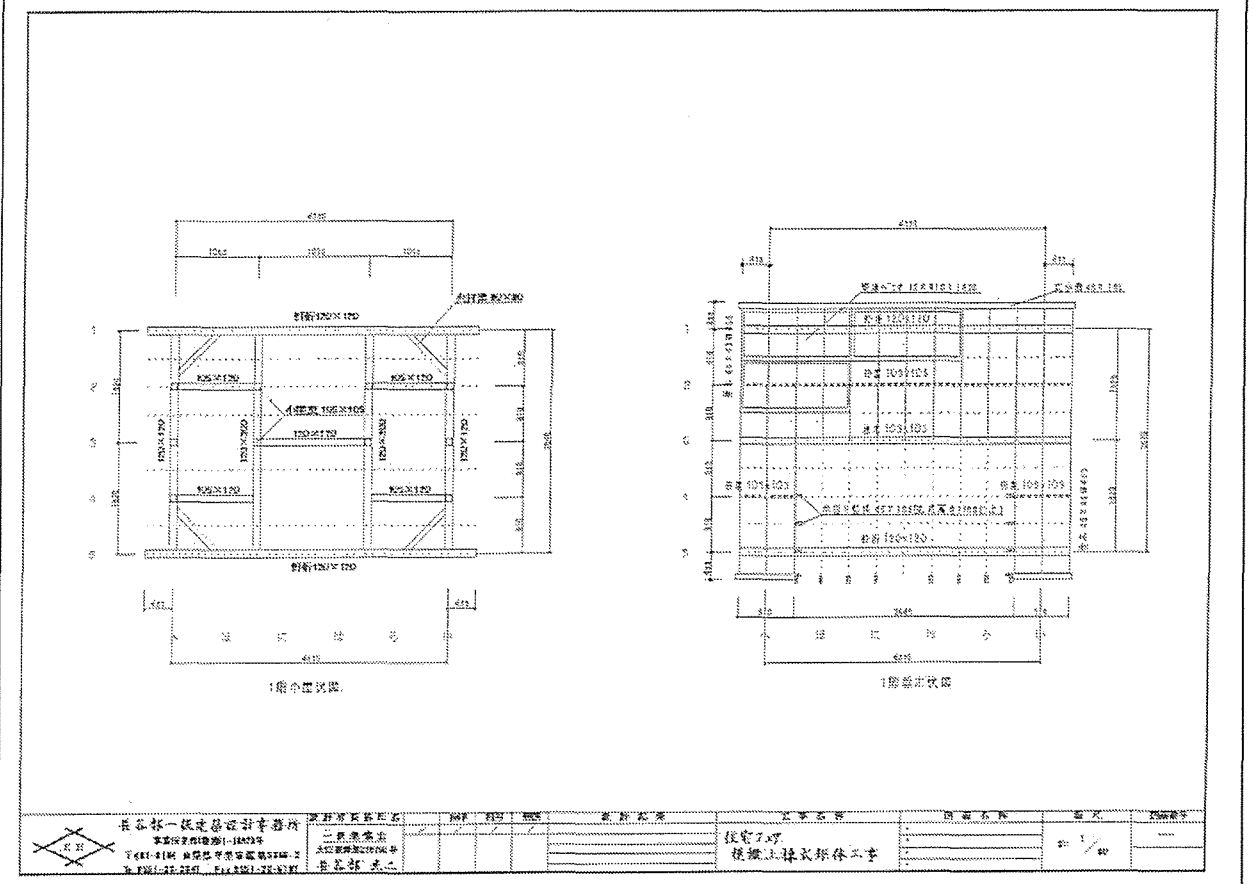
平面图 1/50 19.83^{m²}



展示建物 断面图 1/50



| | | | | | | | |
|--|---|--------------------------|---------------|-------------------|-------------|------------|-----------|
| | 長谷川一級建築設計事務所 〒481-8182 長谷川町会新築地586-2 TEL:052-221-2251 FAX:0521-221-2251 | 現場責任者 二級建築士 長谷川 大一 | 設計者 長谷川 大一 | 設計内容 仮設上棟式解体工事 | 図面名称 組立図 | 縮尺 1/40 | 図番 001 |
| | 備考欄 | | | | | | |



| | | | | | | | |
|--|---|--------------------------|---------------|-------------------|-------------|------------|-----------|
| | 長谷川一級建築設計事務所 〒481-8182 長谷川町会新築地586-2 TEL:052-221-2251 FAX:0521-221-2251 | 現場責任者 二級建築士 長谷川 大一 | 設計者 長谷川 大一 | 設計内容 仮設上棟式解体工事 | 図面名称 組立図 | 縮尺 1/40 | 図番 002 |
| | 備考欄 | | | | | | |

